

天草市キリシタン資料館 年報

(天草キリシタン館・天草コレジヨ館・天草ロザリオ館)

No.2【2020年度】



天草キリシタン館



天草ロザリオ館



天草コレジヨ館

2021年 6月

世界遺産・キリシタン資料館係

ごあいさつ

令和3年4月1日付けで、文化課は文化振興・文化財係と世界遺産・キリシタン資料館係に再編され、業務の効率化と専門的分野の強化連携を図ることとなりました。特に、世界遺産・キリシタン資料館係は、世界遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産である崎津集落を含めた天草のキリシタン史や文化、信仰形態や遺物を効果的・効率的に情報発信し保護と活用を図るための体制です。天草市において策定した「天草市総合計画」及び「第2次天草市教育振興基本計画」に基づき、今後の天草キリシタン資料館のあり方を検討するため、令和2年度にキリシタン資料館3館の合同運営委員会を2回開催しました。委員会では、基礎調査の重要性、適正な資料管理、効果的な情報発信、施設の改善と体制強化等について意見を頂いております。また、3館と崎津集落を一体として活用する必要性が提起され、施設の再編と特色ある展示、施設改修、資料確認・調査に取り組むことになります。

周知のとおり令和2年度は新型コロナウイルスの影響を受け、4月15日から5月31日まで休館を余儀なくされ、その後も感染症対策に係る社会活動・移動等の自粛要請により入館者は激減しています。なお、休館中の業務として各館の収蔵資料の確認・整理、図書登録・書庫整理、執務室の整理などを中心に実施しました。さらに、休館明けの記念品としてリサイクルバッグや葉を作成し、6月の開館後に来館されたお客様に喜んで頂いております。その様な中、10月中旬から12月に天草キリシタン館で開催しました企画展「天草を治めた光秀の孫 仁義の侍 三宅藤兵衛」は、NHK大河ドラマと関連し好評を博しました。また、講演会やわくわく歴史探検隊にも多くの出席を頂き、資料館活動と地域との関係を再認識する機会となったところです。

令和3年度は、3館の管理運営体制を見直すと共に、今後5年間の具体的な業務計画を策定します。「世界遺産の崎津集落とキリシタン資料館3館、天草西海岸の風景、イルカウォッチングなどを活用し地域振興と観光振興を図り、天草の歴史と自然を保護・継承したい。」これは、令和2年12月31日に急逝された故中村五木市長の天草に寄せる想いでした。私たちは、馬場昭治市長のもと実施計画を前に進め、市民と繋がり来館者に感動を与える展示施設として、博物館活動を実行して参りたいと存じます。

今後とも、ご指導ご教示賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

令和3年6月30日

天草市立天草キリシタン館

館長 平田 豊弘

天草市立天草コレジヨ館・天草市立天草ロザリオ館

館長 岡部 京美

凡例

- 1、本書は、天草市立キリシタン資料館(天草キリシタン館、天草コレジヨ館、天草ロザリオ館)の2020年度の年報である。
- 2、年報に掲載した写真・文章は各館において撮影・執筆したものを、天草キリシタン館の平田豊弘と立石綾が編集した。
- 3、年報に掲載した、図・表・グラフは立石が制作した。
- 4、資料については、各担当者の氏名を記した。
- 5、本文に掲載した内容の詳細については、各施設に確認すること。

目次

ごあいさつ	1
-------------	---

【天草キリシタン館】

天草キリシタン館運営委員会	6
天草キリシタン館職員	6
施設概要	6
1. 令和2年度事業報告	7
(1)展示活動	7
(2)各機関との連携事業	12
(3)その他	12
(4)教育普及活動	17
(5)視察・研修受け入れ	26
(6)令和2年度来館者動向	28
2. 寄贈・購入資料報告	30
(1)寄贈書籍一覧	30
(2)購入書籍一覧	31
(3)寄贈資料一覧	31

【天草コレジヨ館】

天草コレジヨ館運営委員会	34
天草コレジヨ館職員	34
施設概要	34
1. 令和2年度事業報告	35
(1)展示活動	35
(2)各機関との連携事業	35
(3)その他	35
(4)教育普及活動	38
(5)視察・研修受け入れ	39
(6)令和2年度来館者動向	40
2. 寄贈・購入資料報告	42
(1)寄贈書籍一覧	42
(2)購入書籍一覧	42
(3)寄贈資料一覧	42

【天草ロザリオ館】

天草ロザリオ館運営委員会	44
天草ロザリオ館職員	44
施設概要	44
1. 令和2年度事業報告	45
(1)展示活動	45
(2)各機関との連携事業	45
(3)その他	45
(4)教育普及活動	47
(5)視察・研修受け入れ	47
(6)令和2年度来館者動向	47
2. 寄贈・購入資料報告	48
(1)寄贈書籍一覧	48
(2)購入書籍一覧	48
(3)寄贈資料一覧	48

【資料】

1. 天草地域各施設の入館者推移	51
2. 資料確認作業及び資料評価・選別調査について	52
3. 熊本大学安高啓明研究室による産官学連携事業の紹介	53
4. 上田家文書調査第一次中間報告 ―新出キリシタン関連文書―	55

天草キリシタン館
(令和2年度報告)

天草キリシタン館運営委員会

令和2年度

委員長 亀子 研二

副委員長 歳川 喜三生

委員 赤木 聖一 池田 真理子 宮崎 敬士 安高 啓明

天草キリシタン館職員

令和2年度

係長(キリシタン資料館管理係) 亀子 敬史

学芸員(同上) 稲津 貴久

館 長(特別職) 平田 豊弘

学芸員(会計年度任用職員) 立石 綾

事務職員(会計年度任用職員) 坂本 みゆき、明瀬 純一、中上 あずさ、本田 稔、
松本 真由美、宗像 秀明、関 千穂美

(以上全て敬称略)

施設概要

構 造 RC地上2階建(昭和41年8月1日開館、平成22年7月1日リニューアルオープン)

施設面積 1階 383.91㎡ 2階 613.87㎡

開館時間 8時30分～17時00分(最終入館16時30分)

休 館 日 火曜日(祝日の場合翌平日)

12月30日、31日、1月1日(年間開館日数310日)



1階 エントランス



2階 展示室

1. 令和2年度事業報告【天草キリシタン館】

(1) 展示活動

国指定重要文化財「綸子地著色聖体秘蹟図指物」公開

公開日：令和2年8月1日～7日、11月1日～7日、令和3年3月1日～7日

「産官学連携事業」展示入れ替え(熊本大学安高啓明研究室)

期 日：令和2年8月10日(月)

天草キリシタン館歴史トピック展示

「明智光秀の孫たち ―細川忠利と三宅藤兵衛のルーツ―」

期 間：令和2年8月1日(土)～10月7日(水)

内 容：企画展「天草を治めた光秀の孫 仁義の侍 三宅藤兵衛」の開催に向けた事前展示として「光秀の孫」たちにスポットをあてた歴史トピック展を開催。三宅藤兵衛の墓所や細川ガラシャの書状などの写真パネルを展示した。



企画展「天草を描く ～鶴田一郎と大西靖子の世界～」

期 間：令和2年8月1日(土)～11月30日(月)

内 容：ギャラリーあまくさ・鶴田一郎事務所協力の元、天草をテーマとした鶴田一郎氏と大西靖子氏の美術作品を展示した。



企画展「天草を治めた光秀の孫 仁義の侍 三宅藤兵衛」開催



企画展チラシ(左)及び図録(右)

期 間:令和2年10月14日(水)
～12月21日(月)

内 容:令和2年度大河ドラマ「麒麟が来る」の主人公・明智光秀の孫にあたる三宅藤兵衛にスポットをあてた企画展を開催。藤兵衛の波乱に満ちた足跡をたどり、天草の歴史や藤兵衛という人物の魅力を紹介する。

◆展示資料一部紹介



「細川ガラシャ浮世絵」

明治18年(1885)

藤兵衛は細川ガラシャ(旧姓:明智玉)の姉、明智岸の子とされるため、ガラシャは藤兵衛の叔母にあたる。この浮世絵は、慶長5年の関ヶ原合戦の折、ガラシャが人質となることをよしとせず、自刃を選ぶ姿を描いたもの。



「四郎乱物語」

18世紀ごろ

福連木村(現天草市天草町)の庄屋だった尾上家に伝わる7冊組の史料で、島原・天草一揆の様子を克明につづっている。軍記スタイルの物語で成立も18世紀ごろとみられるが、その信ぴょう性は高いと考えられる。藤兵衛の最期の様子が記されている。

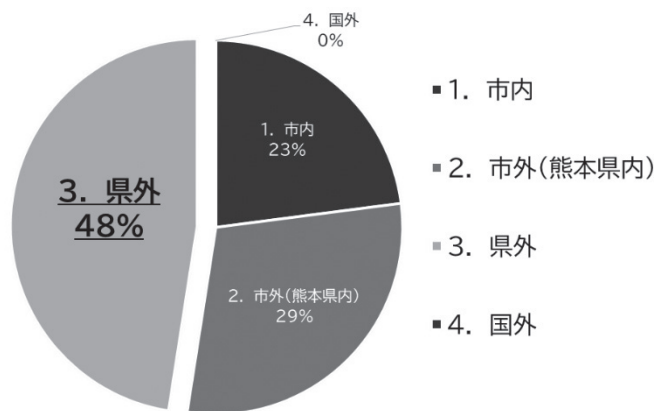


展示の様子

◆令和2年度「三宅藤兵衛」展アンケート集計結果【回答件数：122件】

今回の企画展では、来館者を対象にアンケート調査を実施した。その結果、来館者の内約半数が熊本県内から来られており、地域別にみると、九州からの来館者が最も多く、次いで関東からの来館者が多い。来館は50％が常設展を目的に来られた。「入館すると偶然企画展が開催されていた」という状況である。しかし、展示内容に関しては好意的な意見が多く、満足度はそれなりに高かった。以下が集計結果である。

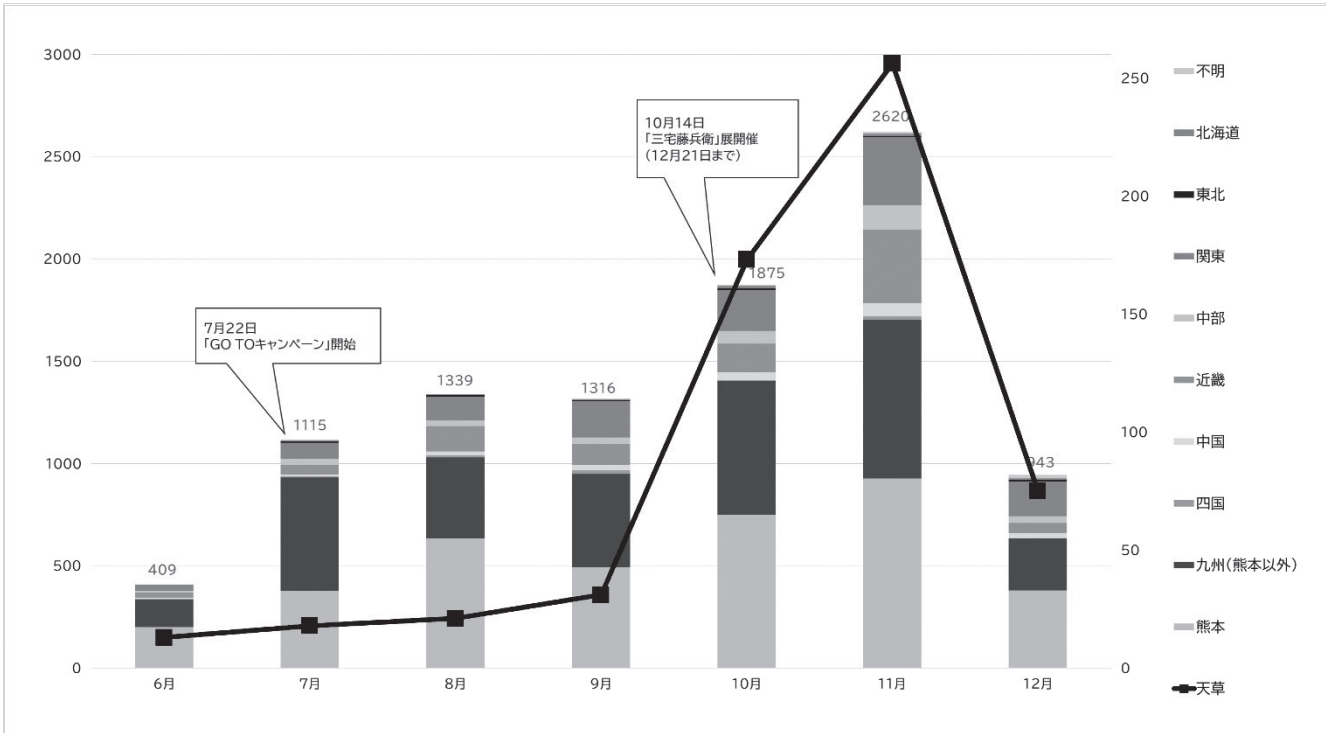
01. お住まいはどちらですか(%)



◆県外回答者数内訳【回答数：58件】

回答数	都道府県名(計18府県)※熊本県を除く
17	福岡県
6	大阪府
5	東京都・宮崎県
4	兵庫県・大分県
3	長崎県
2	京都府・和歌山県・佐賀県
1	鹿児島県・滋賀県・石川県・新潟県・神奈川県・千葉県・埼玉県・宮城県

◆令和2年6月1日～12月21日 地域別入館者動向 (単位：人)



◆都道府県別総入館者数(令和2年6月1日～12月21日)

九州	熊本	3760
	長崎	310
	福岡	1799
	大分	398
	鹿児島	246
	宮崎	198
	佐賀	231
	沖縄	42
合計		6984

中国	山口	54
	広島	84
	岡山	35
	島根	7
	鳥取	8
合計		188

近畿	大阪	465
	奈良	45
	京都	83
	滋賀	35
	兵庫	184
	和歌山	18
	三重	11
合計		841

四国	香川	23
	徳島	4
	高知	10
	愛媛	25
合計		62

中部	静岡	37
	愛知	184
	岐阜	33
	福井	6
	石川	9
	富山	10
	新潟	12
	長野	23
	山梨	4
合計		318

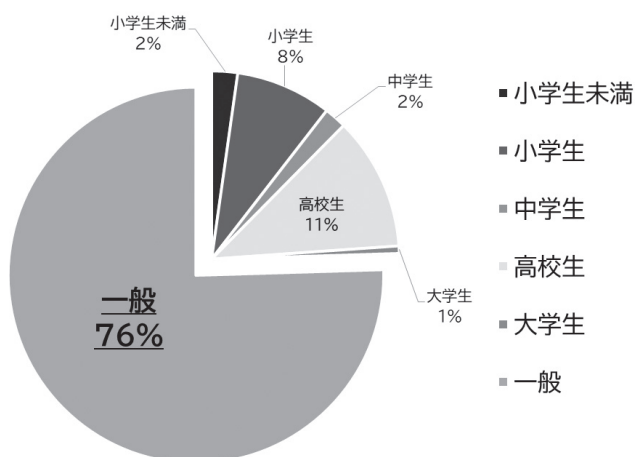
関東	神奈川	282
	東京	502
	千葉	147
	埼玉	107
	群馬	16
	栃木	17
	茨城	28
合計		1099

東北	福島	8
	山形	2
	宮城	22
	秋田	5
	岩手	0
	青森	4
合計		41

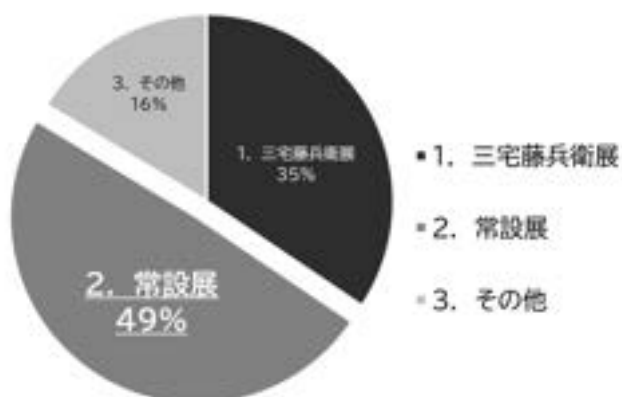
北海道	38
合計	38

不明	46
合計	46

02.ご来館された人数は(分類別：%)



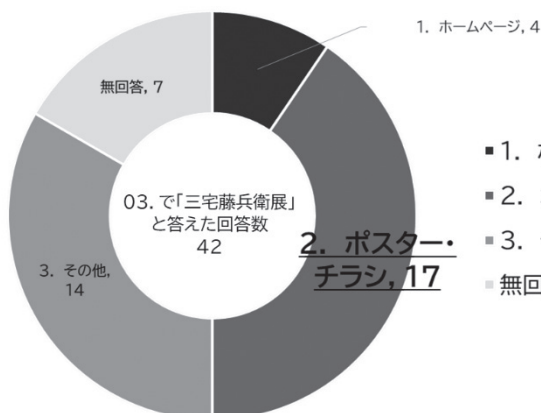
03.ご来館の主たる目的は(分類別：%)



3. その他<<記述回答>>

- ・キリシタンの歴史(について知るため)。
- ・観光(旅行)のため。
- ・鶴田一郎さんの展覧会。
- ・天草四郎(について知るため)。
- ・旅の途中で寄った。
- …など

◆開催をどこで知りましたか(03で1.三宅藤兵衛展と答えた方のみ:回答数42人)



3. その他<記述回答>

- ・前回来たときに(知った)。
- ・不知火美術館。
- ・フェイスブック(SNS)。
- ・キリシタン館。
- ・市政だより。
- ・栢宇土地区コミュニティセンター。
- ・高齢者学校
- ・テレビのニュース。
- ・NHK 地域ニュース「わが街発見」

04.本企画展の感想をお聞かせください

- ・2度目の来館ですが、その時のイベント次第ではとても面白く、三宅藤兵衛のことはあまり知らなかったの、新たに勉強になりました。またマイナーなイベントがあれば来てみたいです。
- ・(三宅藤兵衛)が明智光秀の孫と知りませんでした。今回初めて来ましたが、もう少し勉強してくれば新たな発見・知識がついて良かったと思いました。また来館したいと思います。
- ・歴史上のよく知られた人物の血縁者が天草にもいたことを知らなかった。大変勉強になりました。
- ・NHK 大河ドラマ「麒麟がくる」とマッチングした企画でたいへん興味深く拝見いたしました。これから天草に関連した戦国武将の企画を期待している。
- ・タイムリーな企画で良かったと思います。光秀の孫が島原・天草一揆で死んでいたことなど初耳でびっくりしました。(細川)忠興のローマ字の印もおしゃれですね。
- ・スペースは思っていたよりも小さかったが、三宅藤兵衛に関する史料が丁寧に紹介されていて、足を運んで良かったと思いました。機会があれば、書状などはぜひ実物を見てみたいです。
- ・思っていた以上に魅力的で引き込まれてしまいました。天草の奥深さを実感しました。館長さんの新聞記事などいつもチェックしています。とても勉強になります。これからも天草の文化・歴史を後世に伝えるためにも、頑張ってください。
- ・地域に残る墓地を地元の方々が大切に管理されていることに敬意を表します。市内のみならず、多様な資料を展示されており興味深かったです。
- ・天草へは何度も来ておりますが、天草キリシタン館へは初めての来館です。たまたま企画展に触れましたが、少しだけ歴史を知ることができて良かったです。
- ・家系図の光俊と光慶の説明でよくわからないところがありました。図では光俊が父ですが、説明文では光慶が父のように書いてあります。同じ名前の人が玉(ガラシャ)の兄弟にもいたのでしょうか。
- ・①古文書は現代語までで内容がわからないので、現代文に訳してもらいたい。②三宅藤兵衛の人物像が全く分らなかった。③細川家に仕えてから現代の子孫(に至るまでの流れ)がわかるようにしたほうが良い。④展示場に説明員を置いたほうがいい。群馬から来た女性客にキリシタンのことなど質問されてしまった。
- ・音声ガイドイヤホンなどがあればよいと思います。

・・・など

(2) 各機関との連携事業

4月1日～3月31日	島鉄観光株式会社「天草グルメとキリシタン文化を巡る旅」協力 ※入館料減額
5月16日～7月5日	熊本県立美術館細川コレクション展「細川忠利と三宅藤兵衛 ー肥後にやってきた、光秀の孫たちー」資料貸出【蒔絵提重：1点】
7月10日～11月30日	九州産交ツーリズム株式会社「天草満喫キャンペーン」協力 ※入館料減額
10月1日～3月31日	九州産交ツーリズム株式会社「あまくさぐるっとクーポン」協力 ※入館料減額
11月8日～11月15日	世界糖尿病デー「ブルーライトアップ」協力

(3) その他

新型コロナウイルス感染症防止に伴う臨時休館

期 間：令和2年4月15日(水)～5月31日(日)

天草市キリシタン資料館年報第1号発行

発行日：令和2年6月22日(月)

来館者無料配布(しおり、リサイクルバッグ)

期 間：令和2年6月1日(月)～



しおり・ペーパーバッグ

企画展・トピック展開催記念プレゼント

(ポストカード・オリジナルノート)配付

期 間：令和2年8月1日(土)～5日(水)

※計200部配布



寄贈いただいた花

文化財防火デー消防・防災訓練実施

期 日：令和3年2月1日(月)

熊本県立天草拓心高等学校本渡校舎生活科学科より
花の寄贈

◎キリシタン館活動報告

◆リサイクルバッグ・しおりの作成

天草キリシタン館では、臨時休館が解除された6月1日以降、来館者の方が自由に持ち帰ることのできるしおりやリサイクルバッグを作成している。以下に、どのように作成しているのかを紹介する。

廃棄チラシ・パンフレット再生紙袋(リサイクルバッグ)の作製工程



①作製道具の準備

- ・両面テープ幅10mm、15mm
- ・カッター、紐の端止め用テープ、紐、はさみ
- ・鉛筆(2H)、一穴パンチ、とじ穴補修シール
- ・ステンレス定規



②廃棄チラシ、パンフレットの準備

- ・紙袋の前面、側面、後面となる分を用意します。



③側面部分の準備

- ・紙袋の側面となる分を、切り取ります。
- ・前面、後面となる部分と接着するのりしろを、左右両端に作ります。のりしろの幅は10mmです。
- ・のりしろ部分には、両面テープを貼ります。



④紙袋前面、後面部分と側面部分の貼り付け

- ・紙袋の側面となる分を、前面部分、後面部分に貼り付け筒を作ります。
- ・筒の上部には、一穴パンチで紐を通す穴を開けます。穴には、とじ穴補修シールを貼り付けます。



⑤紙袋の底となる部分の作製

- ・紙袋の底面となる分を、折り込みます。
- ・両面テープ15mmを所定の位置に貼り、底面を作製し紙袋本体が完成します。



⑥紙袋の完成

- ・紐を所定の長さに切り、端をテープでほころびないように巻いて、紙袋の本体の穴に通し、側面の部分でもやい結びをして完成です。



⑦紙袋のバリエーション

- ・いろいろな種類の紙袋を作製しています。

手作りしおりの作成



しおり用にカットした紙に天草キリシタン館のスタンプを押し、押し花や使用済みの切手、市販のシール、折り紙を使ってデコレーションし、ラミネート加工します。(現在は書籍を購入された方向けにプレゼントしています)

◆IPM 活動(立石 綾)

IPMとは Integrated Pest Management の略で、予防に重点をおいた総合的な害虫(有害生物)管理のことを指し、薬剤だけに頼るのではなく、有害生物が棲みにくい・発生しにくい環境を作るため、さまざまな方法を組み合わせて被害の発生や進行を防ぐという考え方である。

天草キリシタン館でも、IPM活動の一環として温湿度データの収集や虫トラップ調査などを行い、館内環境の把握に努めている。以下に、実際にどのような虫がトラップにかかるのか、その一部を紹介する。

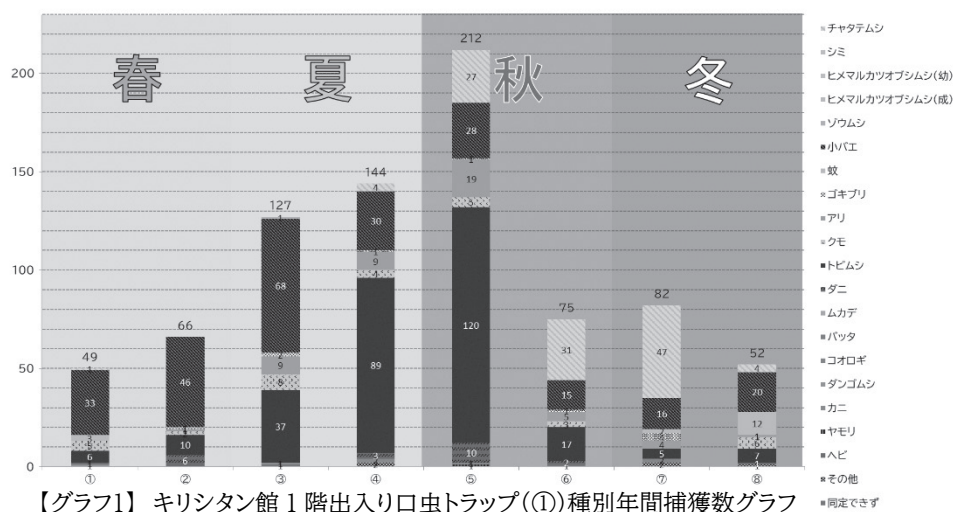
虫トラップ調査報告

1. トラップの設置場所と観察方法

現在キリシタン館に設置している虫トラップは、1 階の出入口(①)、収蔵庫入口(②)、収蔵庫内(⑤)、書庫(③・④・⑪)、2 階旧カフェショップエリア(⑥)、展示室内(⑦・⑧・⑨・⑩)の計11個です。回収したトラップ(粘着シート／誘引性なし)にかかった生物の種類と数を記録。生物の同定には『文化財害虫事典 2004年改訂版』(独立行政法人文化財研究所東京文化財研究所編、2010年)を使用し、記載のないものに関してはインターネットなどを利用して可能な限り判別しました。

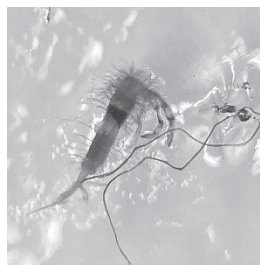
2. 実施結果

下記の【グラフ1】は最も捕獲数の多い1 階の出入り口に設置している虫トラップ①の年間データです。表のとおり、夏から秋にかけて捕獲数が増加し、気温が寒くなると減少していることがわかります。この傾向は他のトラップにもみられることから、生物の活動が活発になる時期をおおよそ知ることができます。



【グラフ1】のうち、捕獲数が多い種類が、トビムシ(【図1】)、コバエ、チャタテムシ(【図2】)です。そのうちチャタテムシは、『文化財害虫事典』においてBランク相当の重要度に指定されています。(A～Cまでの3段階に分類。Bランクは「文化財の被害発生頻度は高いが加害力は強大でない害虫、または被害発生頻度は低い、多大な被害をもたらす害虫」とされる)チャタテムシは書籍の糊や乾燥標本などに発生したカビを食べる虫で、文化財に対する被害は大きくありませんが、「カビの生えやすいジメジメとした環境

を好む」という性質から、トラップ周辺の環境状態を知る目安になる「指標生物」になります。トビムシもまたチャタテムシと同じように湿った環境を好む虫ですが、自然界においては分解者として位置づけられ、害はあまりありません。しかしこれらの昆虫が多く発生している場合、その場所が多湿でホコリがたまっており、換気も良くない状態になっていることを指します。対処としては、換気をし、こまめに掃除を行ってカビの栄養源となるホコリなどを取り除き、湿度が高くならないように調湿を行います。



【図1】トビムシ



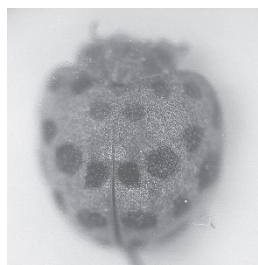
【図2】チャタテムシ

【図3】はヒメマルカツオブシムシで、『文化財害虫事典』の分類ではAランクに指定されています。図は幼虫のときの姿です。(Aランクは「文化財への被害発生頻度が高く、かつ加害力の強大な害虫」とされる)成虫は野外で花の蜜などを吸い、文化財を加害することはありませんが、幼虫のときに羊皮紙や毛皮、毛織物、絹、動物標本、乾燥した植物などを好んで食害します。また、虫の死骸なども食べるため、設置したトラップを長くそのままにすると、カツオブシムシを呼び寄せてしまう原因になってしまいます。対処としては、清掃や防虫剤の使用などが挙げられます。



【図3】ヒメマルカツオブシムシの幼虫

周囲を自然に囲まれたクリシタン館では、他にも下記の図(【図4】【図5】)のような昆虫が迷い込むこともあります。いずれも2階展示室の展示ケースの中で発見されたもので、ケースの隙間から入り込んだものと思われます。これらの昆虫が文化財に多大な影響を及ぼすことはありませんが、常時目視でのチェックを職員で行い、発見次第回収してその都度同定作業を行っています。



【図4】ニジュウヤホシテントウ
(テントウムシダマシ)



【図5】グンバイムシ

今回は、トラップ調査で実際に捕獲される生物について紹介しました。チャタテムシやヒメマルカツオブシムシは、実は家庭でも見られるとても身近な生物です。しかし、餌となるものを清掃で除去したり、湿度の管理や換気を十分に行うことで防ぐことができます。このような「できる範囲の」予防対策でも、害虫やカビの被害をある程度抑えることができます。それをこまめにかつ継続的に続けることこそが、最も大切なことといえます。

(4) 教育普及活動

◎体験学習

小・中学生向け体験学習「わくわく歴史探検隊」

目 的：企画展「天草を治めた光秀の孫 仁義の侍 三宅藤兵衛」の開催に合わせ、墓所や広瀬天満宮など三宅藤兵衛に関係する史跡を巡り、天草の歴史や文化を体感、天草キリシタン史への関心の向上を図る。

日 時：令和2年11月1日(日) 8:30 ～ 10:50

行 程：8:30 天草キリシタン館集合、出発

8:50 広瀬天満宮

9:20 三宅藤兵衛の墓

10:00 部将の墓

10:20 明德寺

10:50 天草キリシタン館見学、閉会・解散

参加者：32人



広瀬天満宮にて



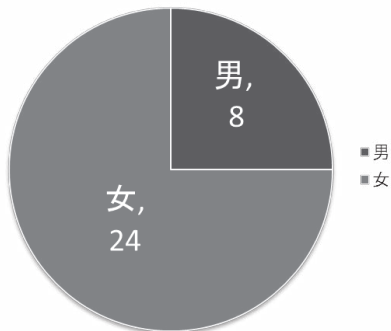
三宅藤兵衛の墓にて

◆令和2年度わくわく歴史探検隊 アンケート集計結果【回答者数：32人】

集計の結果を見ると、参加者の平均年齢は60.1歳で市内在住、女性の参加者が多くを占めた。イベントの開催は「市政だより」で知ったと回答した方がほとんどで、内容に対する満足度は高く、好意的な意見が多かった。参加者の多くが他のキリシタン系資料館を訪れたことがあると回答しており、天草の歴史に対する関心の高さがうかがえる。

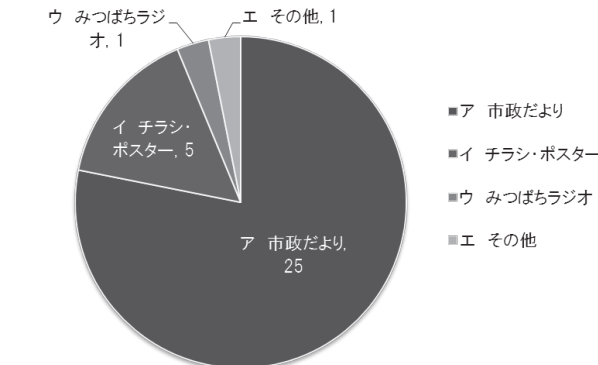
次回の行先として、市内の神社やお寺、城跡などを巡りたいという要望があり、バスツアーやウォークラリー形式での開催を求める声もあった。

1. 参加者の性別



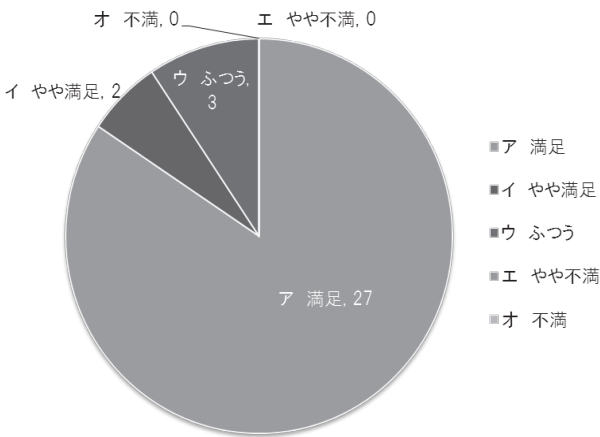
男	女
8	24

2. 開催をどこで知ったか



ア 市政だより	イ チラシ・ポスター	ウ みつばちラジオ	エ その他
25	5	1	1

3. 満足度



ア 満足	イ やや満足	ウ ふつう	エ やや不満	オ 不満
27	2	3	0	0

感想

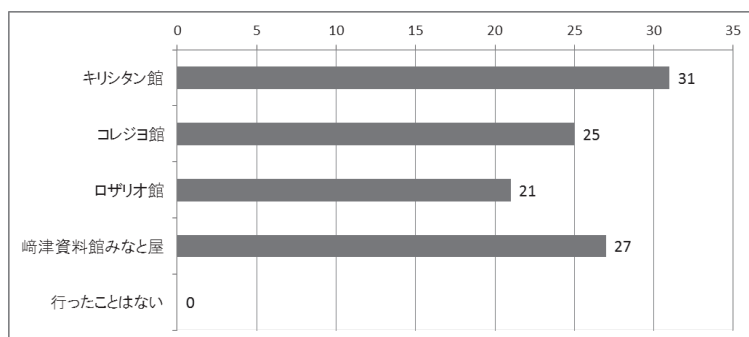
- ・身近な所だがなかなか行かない所で、説明も分かりやすかった。
- ・普段歩くことのない所を歩いたりして、新しい発見があって楽しかったです。
- ・コースの設定、時間が良い。
- ・天草の歴史ロマンを実際に歩いて、距離感を感じられて楽しかったです。陣中旗の本物の迫力もすばらしかったです。
- ・千人塚に薦がたくさん這っていたのは残念かったです。
- ・知らないことを案内していただいたので良かったです。ちょっと歩きのペースが速かったです。
- ・歩いてのウォーキングだったからつかれた。・・・など

4. 次回開催への要望

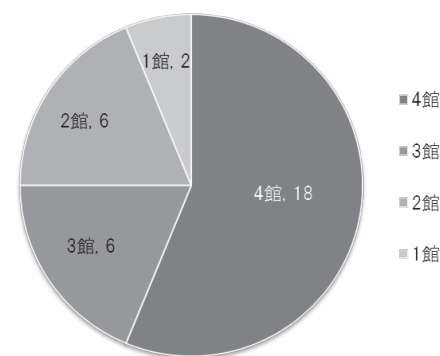
- ・本渡内の神社、建物などを説明していただきたい。
- ・お寺巡り、史跡巡り。
- ・次回はバス旅行を楽しみにしています。
- ・上天草市とかバス旅行希望です。
- ・ペーが墓。
- ・牛深の久玉城跡等天草氏に関するお話が聞きたいです。
- ・ウォークラリー。

…など

5. 今までにキリシタン系資料館へ行ったことがあるか



キリシタン館	コレジオ館	ロザリオ館	崎津資料館みなと屋	行ったことはない
31	25	21	27	0



4館	3館	2館	1館
18	6	6	2

前述したとおり、キリシタン系資料館 4 館すべてに行ったことがあると回答された方が半数以上を占めたことから、参加者は「もともと天草の歴史に興味がある」方であることがわかる。併せて、今回のテーマが明智光秀の孫である三宅藤兵衛についてだったことから、明智光秀が主役となった今期大河ドラマの影響もあったのではないと思われる。参加者の平均年齢が 60.1 歳と高めであったこともそれを示している。世間一般に広く知られている「明智光秀」というワードが興味を引くきっかけになったことはほぼ間違いない。

今回のアンケート結果と第 1 回・2 回の結果から、その時の流行に目を向けることの必要性を感じた。流行の事柄、あるいは世代を問わず誰もが耳にしたことがあること（歴史上有名な人物・事柄など）をキーワードにテーマを設定することで、十分に興味を引くことができると考えられる。また、ワークショップやバスツアー等を、年齢層に応じて組み込む必要もある。誘導時の安全確保やペース配分等の課題も含め、今後の開催の参考としたい。

◎講演会

「天草を治めた光秀の孫 仁義の侍 三宅藤兵衛」展関連講演会（全2回）

◆企画展関連講演会第1弾

日 時:令和2年11月14日(土) 13:30～16:30

場 所:天草市民センター展示ホール

講 師:稲葉 継陽 氏

(熊本大学永青文庫研究センター長・教授)

演 題:「三宅藤兵衛と明智光秀 そして細川家」

講 師:平田 豊弘 氏(天草キリシタン館館長)

演 題:「三宅藤兵衛と島原・天草一揆」

参加者:100人(定員100人)



◆企画展関連講演会第2弾

日 時:令和2年11月28日(土) 13:30～16:30

場 所:天草市民センター展示ホール

講 師:青木 勝士 氏

(島田美術館令和2年度企画展「光秀の残映」展示監修)

演 題:「明智光秀の残映 熊本に残る血脈」

講 師:中山 圭 氏(天草市観光文化部文化課)

演 題:「藤兵衛時代の天草の城」

参加者:92人(定員100人)

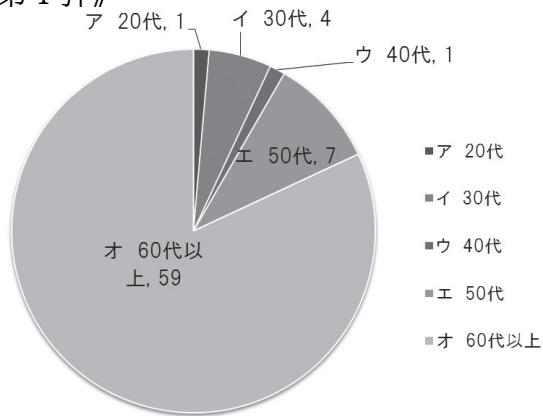


令和2年度『三宅藤兵衛展関連講演会』アンケート 集計結果

令和2年11月14日(土)と28日(土)に開催された講演会に参加された方にアンケートを実施。以下は集計結果である。(第1弾:回答数73人、第2弾:回答数69人)

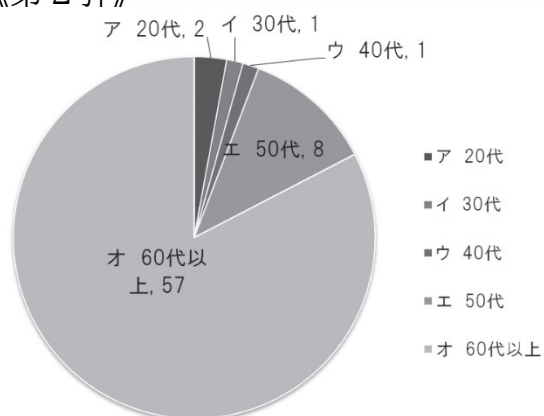
01. 年齢

《第1弾》



ア 20代	イ 30代	ウ 40代	エ 50代	オ 60代以上
1	4	1	7	59

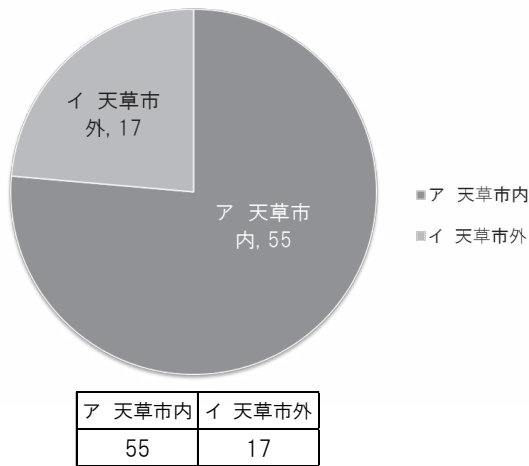
《第2弾》



ア 20代	イ 30代	ウ 40代	エ 50代	オ 60代以上
2	1	1	8	57

02. 住まい

《第1弾》

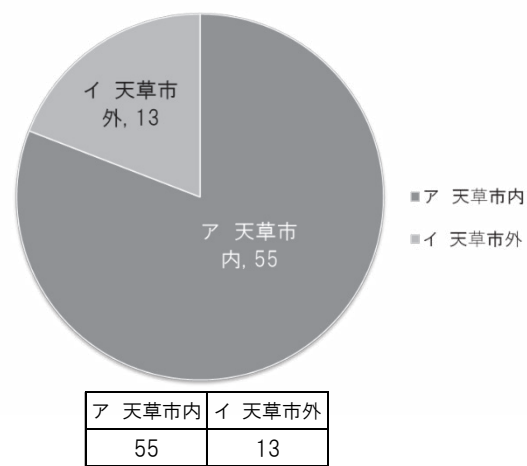


ア 天草市内	イ 天草市外
55	17

【イ 天草市外】内訳

福岡県	熊本県	上天草市	苓北町
1	11	1	4

《第2弾》

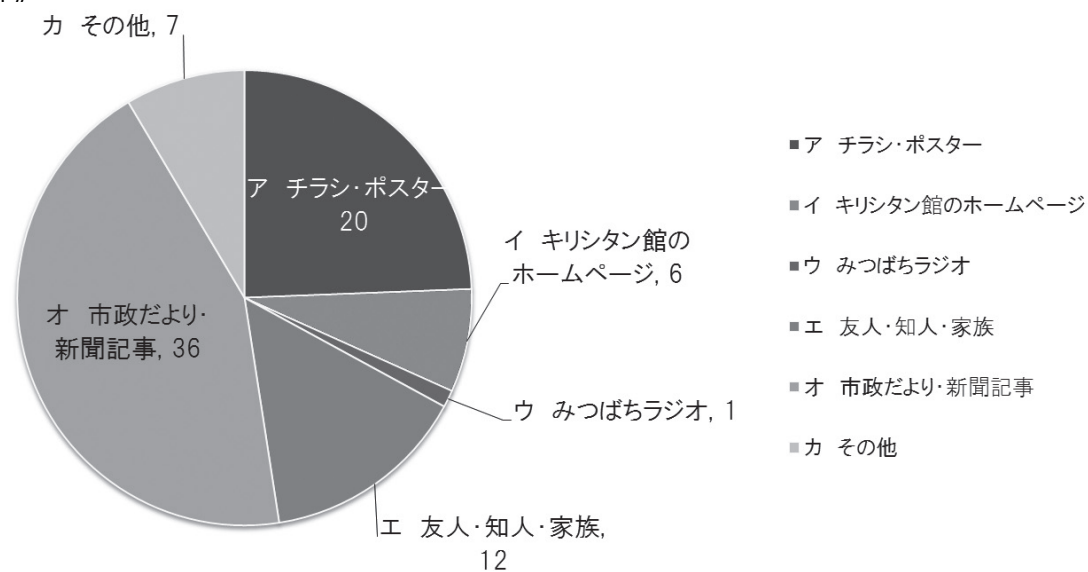


ア 天草市内	イ 天草市外
55	13

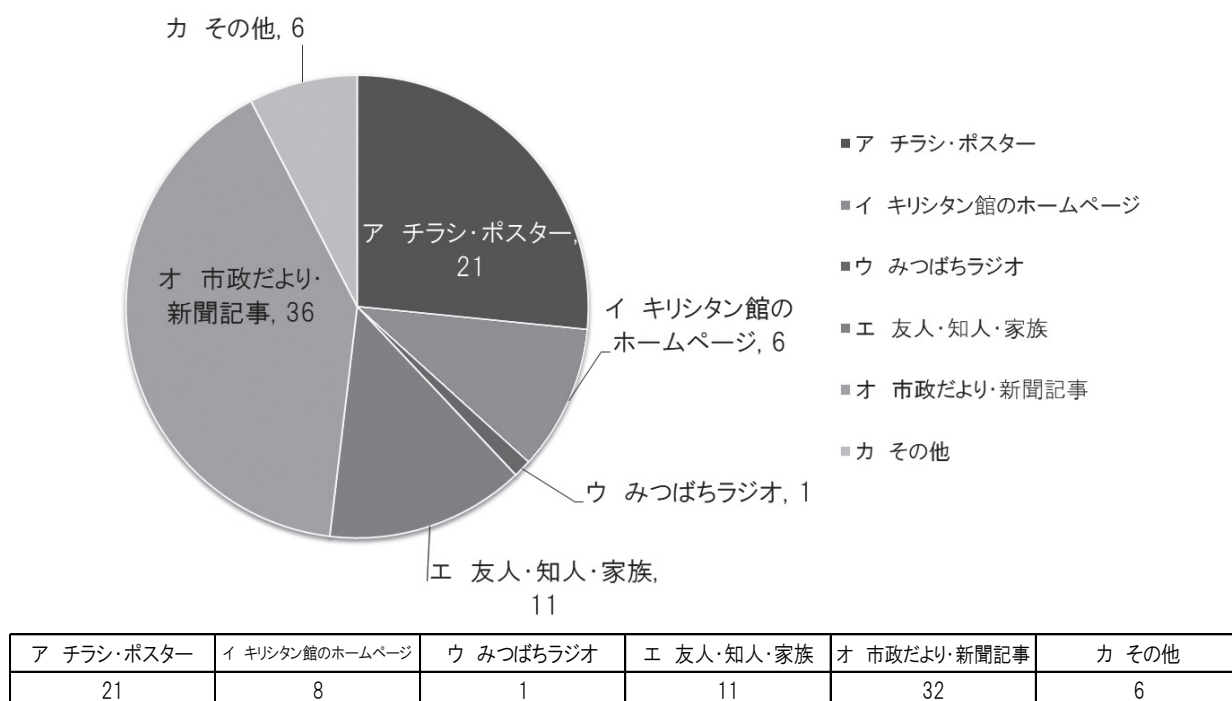
【イ 天草市外】内訳

福岡県	熊本県	上天草市	苓北町
1	6	0	6

03.開催をどこで知ったか 《第1弾》

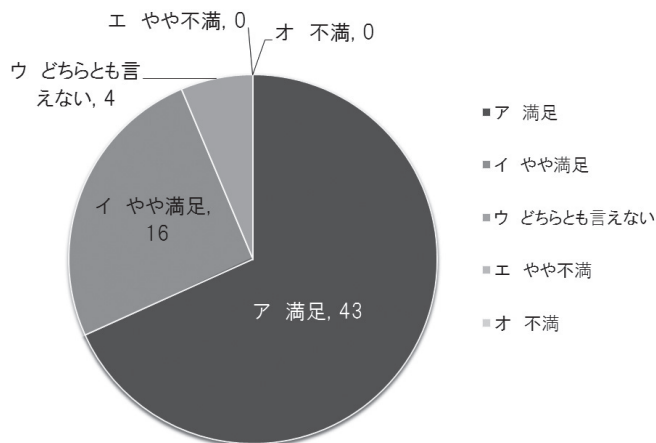


《第2弾》



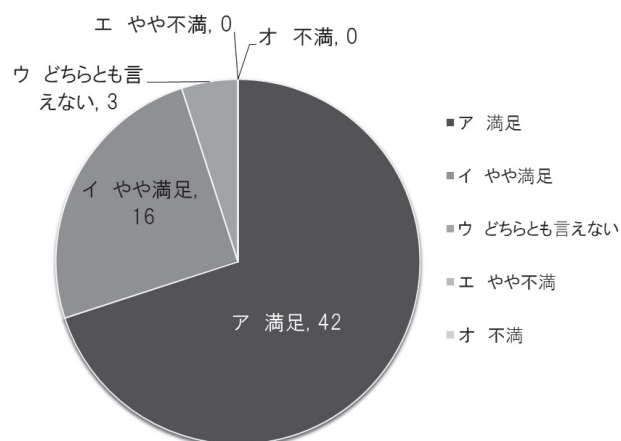
04. 講演会の感想

《第1弾》



ア 満足	イ やや満足	ウ どちらとも言えない	エ やや不満	オ 不満
43	16	4	0	0

《第2弾》



ア 満足	イ やや満足	ウ どちらとも言えない	エ やや不満	オ 不満
42	15	3	0	0

【ア 満足】 感想(一部)《第1弾》

- ・稲葉先生の話で今まで疑問に思っていたことがずいぶんと解けた。
 - ・なかなか詳しいお話で、改めていい勉強になりました。次回を楽しみにしています。
 - ・三宅藤右衛門の方に興味が出て、もっと熊本を身近に感じた。
 - ・三宅藤兵衛という人物が、実は重要な人物であることがよくわかりました。最新の研究成果を聞くことができて大変勉強になりました。
 - ・豊富な資料をもとにわかりやすいお話をありがとうございました。
 - ・勉強不足の私には少し難しかったが、面白くもありました。
 - ・NHKの「麒麟がくる」を見ていますが、それに関連した講演で興味深く聞いていました。
- …など

【ア 満足】 感想(一部)《第2弾》

- ・熊本の歴史人に中世時代より日本の政治にかかわる人物がこれほどいらっしゃることを判りやすい資料で認識しました。熊本弁を巧みに入れての説明も心地良かった。
 - ・青木先生の衣装にびっくり。話も面白くドラマを思い出しながら聞き入りました。お城から見る歴史も面白かったです。
 - ・一言で言って大変面白かった。細川家歴代の話等興味深く聴かせてもらいました。
- …など

【ウ どちらとも言えない】 感想《第1弾》

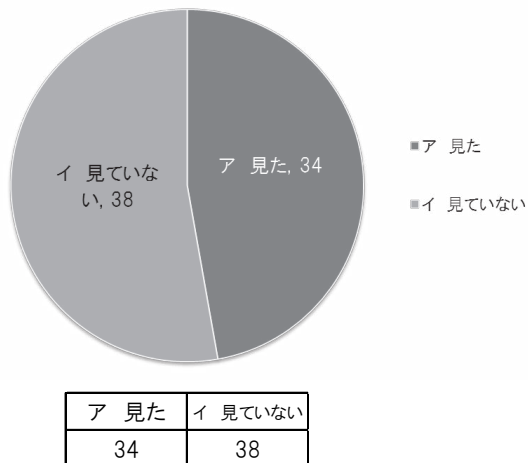
- ・昔の人の名前一人ひとりにいくつもの呼び名があり、覚えるのが難しいです。
- ・話についていけなかった。

【エ やや不満】 感想《第 2 弾》

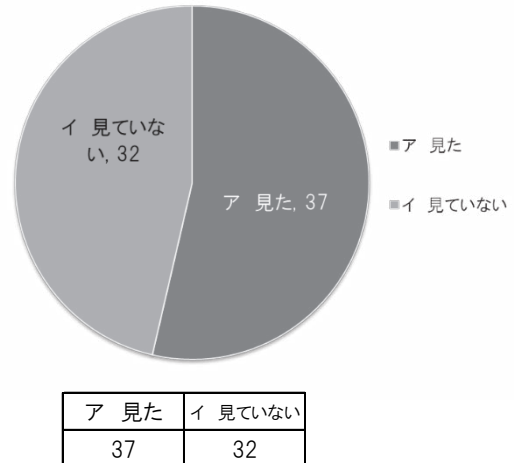
- ・資料的に物足りなかった。
- ・古文書の現代文がなかった。藤兵衛の天草での人となり(についての資料)が不足していた。

05. キリシタン館で開催中の三宅藤兵衛展を見たか

《第 1 弾》

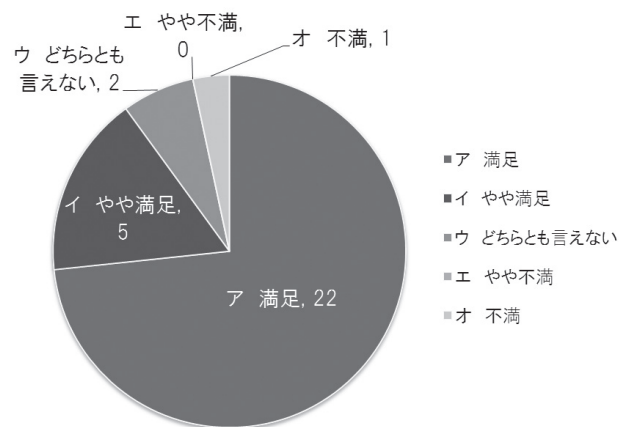


《第 2 弾》

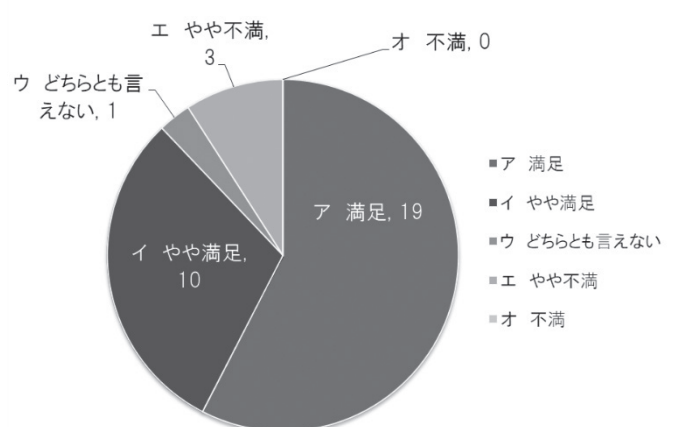


06. (問 5 で「見た」と答えた方) 企画展の感想

《第 1 弾》



《第 2 弾》



【ア 満足】 感想(一部)《第1弾・第2弾》

- ・(藤兵衛の)出生から天草での生活、最期の討死まで物語がよくわかりました。
- ・ガラシャ夫人との関係がよくわかりました。
- ・古文書の記録を主にした展示がよかった。
- ・様々な史資料が展示されていて、とても面白い内容でした。
- ・天草に住みながら今まであまり知ることのなかった三宅藤兵衛。片や日本全国に名が知れ渡っている明智光秀。そこにつながりがあり、天草島民にとっては関心の高い天草・島原一揆にも深くかかわっていたことに驚きを覚え、興味深かった。古文書等の資料も充実していた。
- ・とてもよく整理されており、史料が集められていたので理解しやすかった。
- ・熊本、天草とのつながりをきちんと理解できました。何となく聞きかじっていたことを再確認し、さらに世界が広がりました。
- ・今まで三宅藤兵衛に関する事項は全く無知であったが、この機会ですしなるとも理解できた。 …など

【イ やや満足】 感想《第1弾》

- ・市民に関しては無料にして欲しかった。
- ・どうしても明智光秀との関連で見に行くので、その点少し資料的に物足りなかったが、三宅藤兵衛のことをよく知る機会になった。

【オ 不満】 感想《第1弾》

- ・片隅でやっている訳で、見るものがなかった。

07. 今後の要望

《第1弾・第2弾》

- ・細川家のことについて。
- ・天草一揆について。(天草四郎の生まれ、生活、一揆までのつながりなど)
- ・天草内にある城について。
- ・天草五人衆について。
- ・天正の天草合戦について。
- ・御領石本家について。
- ・鈴木重成に関する事。
- ・天草に残る諸歴史遺産(各地)なら何でも！次回開催されるときもぜひ参加したい。
- ・城巡りツアー(学芸員解説付)。
- ・アルメイダ時代のコレジオ跡。
- ・天草における陶器の歴史について詳しく知りたい。
- ・天草・島原一揆前後の庶民の生活等について学びたいと思います(信仰も含めて)。
- ・五足の靴に関する事項(全般について)。
- ・天草のキリシタンと天草の生業との関連。 …など

◎インターンシップ・職場体験受け入れ

インターンシップ・職場体験

・期 間:令和2年9月29日(火)～10月1日(木)

実習生:天草市立本渡中学校2年生 2人

・期 間:令和2年10月27日(火)～10月30日(金)

実習生:熊本県立天草工業高等学校 情報技術科2年生 3人

内 容:天草キリシタン館での体験内容はおおむね下記のとおり。

天草キリシタン史や世界遺産登録について 配布用しおり・リサイクルバッグの作成 資料の取り扱いについて 展示室の案内体験 わくわく歴史探検隊ルート確認・課題抽出 など
--



本渡中学校職場体験のようす



天草工業高等学校インターンシップ体験のようす

◎市内小中学生見学受け入れ

令和2年度 5校 251人(述べ8回、引率者を含む)

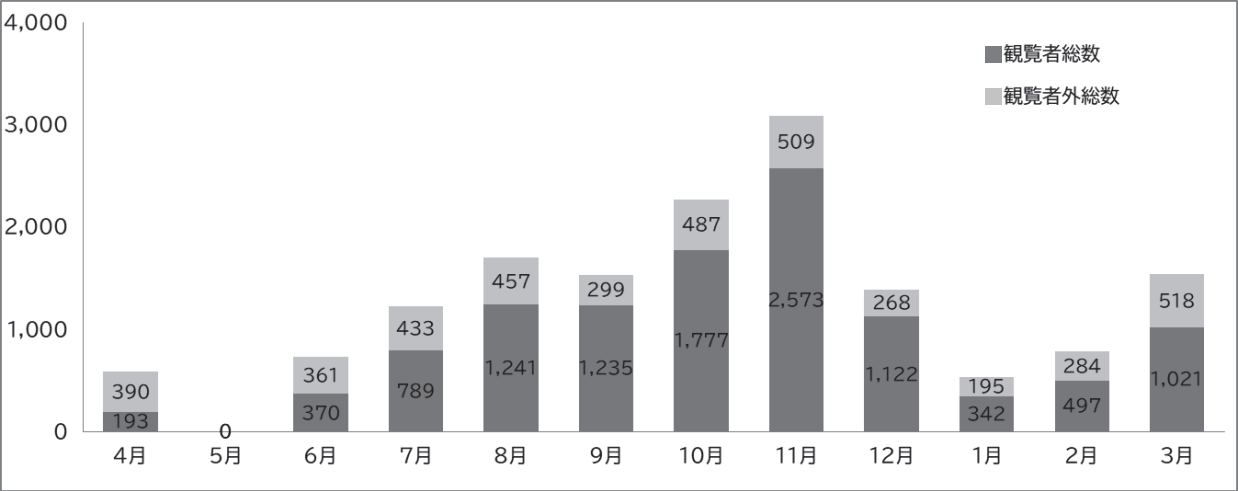
10月12日	天草市立本渡北小学校	12月23日	天草市立牛深中学校
10月15日	天草市立本渡北小学校	12月24日	天草市立牛深中学校
10月20日	天草市立本渡北小学校	2月8日	天草市立五和中学校
11月13日	天草市立御所浦小学校	2月26日	天草市立有明中学校

(5)視察・研修受け入れ

令和2年度 15件 104人

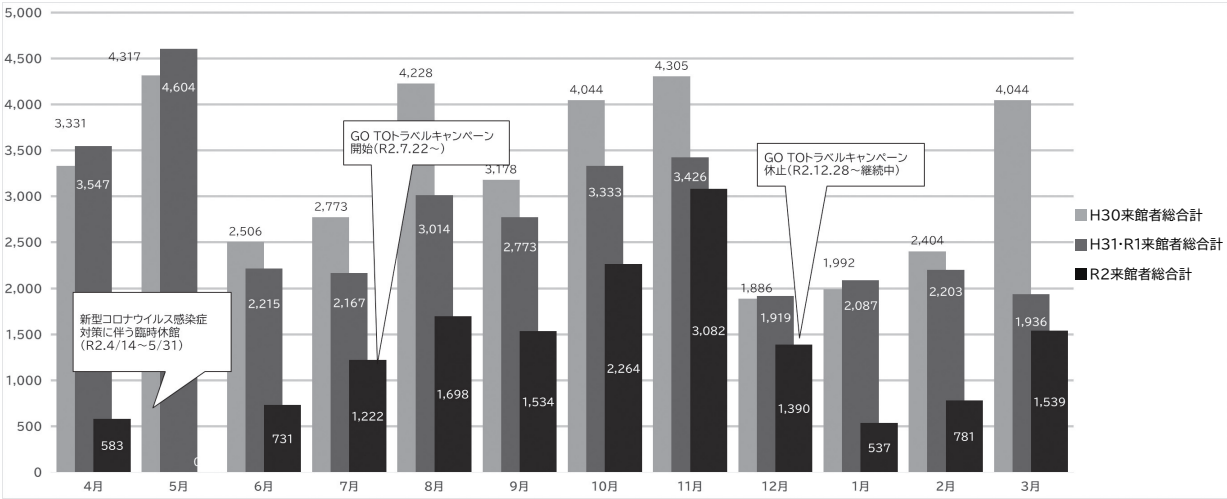
4月	受入なし ※15日より臨時休館
5月	受入なし ※1日～31日まで臨時休館
6月	受入なし
7月	31日 西鉄観光バス新人バスガイド研修
8月	7日 熊本日日新聞社取材
	13日 ポルトガル駐日大使館一等書記官視察
9月	16日 長崎県交通局新人研修
10月	7日 宮城大学・九州大学視察
	21日 ブータン王国日本総領事館視察
11月	5日 旅行綜研株式会社添乗員研修
	13日 研修会講師・参加者視察
	16日 JFG インバウンドツアー下見
	26日 天草市河浦民生委員自動委員協議会視察
12月	9日 栢宇土地地区振興会研修
1月	18日 熊本県立天草拓心高等学校見学
2月	22日 オフィス・マリオネット(日色ともゑ様)視察
3月	20日 児童発達支援センターすくすく園見学
	27日 児童発達支援センターすくすく園見学

(6)令和2年度来館者動向 (単位:人)



		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
個人	一般	152	0	343	713	1,029	1,021	1,446	2,038	968	284	382	732	9,108
	高校生	5	0	0	4	17	7	2	7	1	5	0	10	58
	小・中学生	18	0	7	26	125	41	39	78	35	20	6	50	445
団体	一般	0	0	0	0	24	2	89	61	13	0	0	40	229
	高校生	0	0	0	0	0	0	0	144	0	0	0	90	234
	小・中学生	0	0	0	0	0	25	14	0	0	0	0	4	43
無料	一般	6	0	19	33	39	64	108	170	50	15	22	59	585
	高校生	0	0	0	0	0	0	0	1	0	13	0	0	14
	小・中学生	12	0	1	13	7	75	79	74	55	5	87	36	444
観覧者総数		193	0	370	789	1,241	1,235	1,777	2,573	1,122	342	497	1,021	11,160
観覧者外総数		390	0	361	433	457	299	487	509	268	195	284	518	4,201
来館者総合計		583	0	731	1,222	1,698	1,534	2,264	3,082	1,390	537	781	1,539	15,361

◆平成30年度・令和元年度・令和2年度来館者数比較

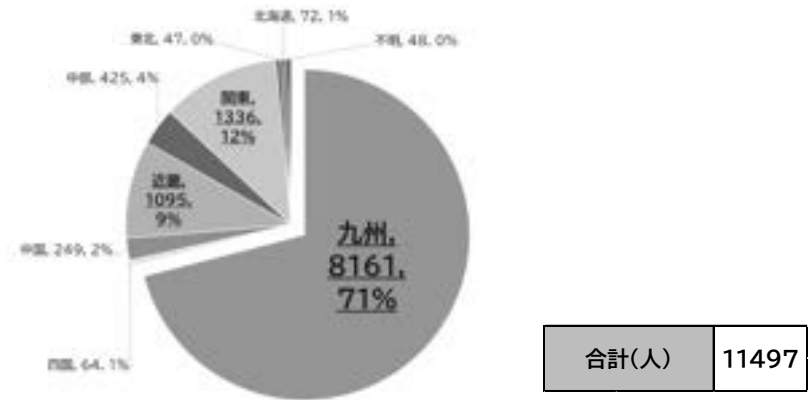


R2来館者総合計	583	0	731	1,222	1,698	1,534	2,264	3,082	1,390	537	781	1,539	15,361
H31・R1来館者総合計	3,547	4,604	2,215	2,167	3,014	2,773	3,333	3,426	1,919	2,087	2,203	1,936	33,224
H30来館者総合計	3,331	4,317	2,506	2,773	4,228	3,178	4,044	4,305	1,886	1,992	2,404	4,044	39,008

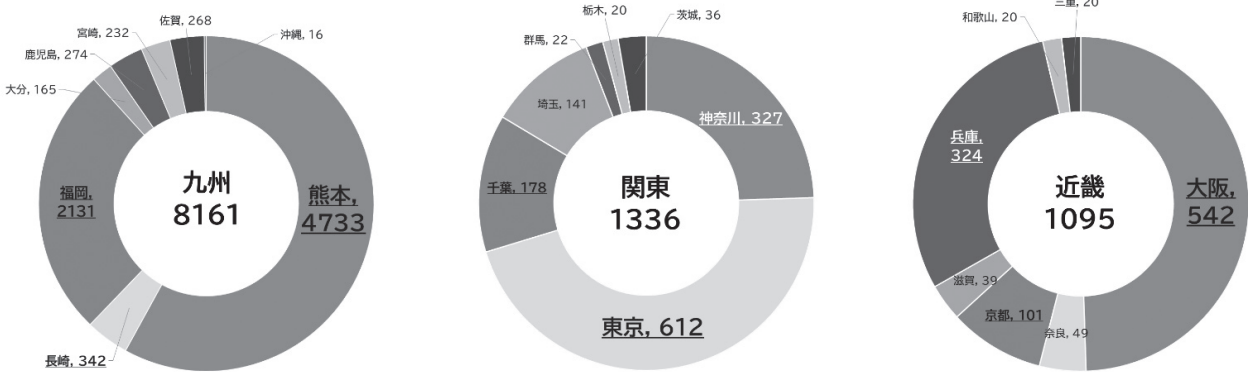
◆令和2年度都道府県別入館者統計

今年度は来館者の方にご協力いただき、都道府県別の入館者数を調査した。結果、来館者の約7割が九州からのご来館で、そのうち熊本県内が半数以上を占め、福岡が約3割と続いた。九州以外の地域からは、関東・近畿地域からお越しの方が多かった。コレジヨ館・ロザリオ館も、入館者数の割合は各地域の内訳も含めキリシタン館とほぼ同じ結果となった。

1. 地域別総入館者数(地域, 総入館者数, 割合)



2. 各地域内訳 ※入館者数が多い3地域のみグラフ化。(都道府県名, 入館者数)



九州	熊本	4733
	長崎	342
	福岡	2131
	大分	165
	鹿児島	274
	宮崎	232
	佐賀	268
	沖縄	16
合計(人)		8161

中国	山口	77
	広島	113
	岡山	42
	島根	8
	鳥取	9
	合計(人)	249

近畿	大阪	542
	奈良	49
	京都	101
	滋賀	39
	兵庫	324
	和歌山	20
	三重	20
	合計(人)	1095

四国	香川	23
	徳島	5
	高知	10
	愛媛	26
合計(人)		64

中部	静岡	50
	愛知	251
	岐阜	35
	福井	7
	石川	12
	富山	12
	新潟	14
	長野	32
	山梨	12
	合計(人)	425

関東	神奈川	327
	東京	612
	千葉	178
	埼玉	141
	群馬	22
	栃木	20
	茨城	36
合計(人)		1336

東北	福島	9
	山形	2
	宮城	22
	秋田	8
	岩手	0
	青森	6
合計(人)		47

北海道	72
合計(人)	72

不明	48
合計(人)	48

合計(人)	11497
-------	-------

2. 寄贈・購入資料報告

(1) 寄贈書籍一覧

書籍名	寄贈者
御船町文化財調査報告書 第7集 御船町内遺跡調査報告書	御船町教育委員会 委員長 本田恵典
令和元年度 文化財防災ネットワーク推進事業 九州国立博物館の取り組み	独立行政法人国立文化財機構 九州国立博物館
平成30・令和元年度 九州産業大学美術館年度報告書 No.9	九州産業大学美術館
研究紀要 2019 第14号 長崎歴史文化博物館	長崎歴史文化博物館 館長 水嶋英治
令和元年度特別展(第38回) 大分の禅 ZEN	大分市歴史資料館 館長 武富雅宣
デイリーサピックス 小学5年 社会 2019年度版	株式会社日本入試センター(進学教室サピックス小学部)
デイリーサピックス 小学6年 社会 2019年度版	株式会社日本入試センター(進学教室サピックス小学部)
長崎純心大学博物館研究 第23輯 『ロザリオの祈り―旅する教会の神秘―』	長崎純心大学博物館 館長 片岡瑠美子
天草鶏肋骨史	鶴田恵子
未来に生きるぶんか遺産 第7回くまもと子ども芸術祭 2019in 天草 記念誌	天草市文化課文化振興係
社会科資料集	サイバー・ネット・コミュニケーションズ 株式会社
熊本博物館 館報 No.32 2019年度報告	熊本博物館 館長 田端文一
熊本城特別公開記念 特別展 追憶の熊本 ―画家・甲斐青萍が描いた熊本城かの記憶―	熊本博物館 館長 田端文一
L'art des missions catholiques au Japan(XVI-XVII siècle)	Les éditions du Cerf éditrice Gullemette Gouhier
西南学院大学博物館ニュース Vol.40 特集 12世紀聖書写本「ローマの信徒への手紙」	西南学院大学博物館
西南学院大学博物館年報 第11号 2018	西南学院大学博物館
西南学院大学博物館年報 第12号 2019	西南学院大学博物館
西南学院大学博物館研究紀要 第8号	西南学院大学博物館
総合文化史 KUMAMOTO くまもと 季刊 No.32 2020年9月	崇城大学芸術学部美術学科 関根浩子
『2021 共通テスト対策問題バック』地理歴史(日本史B)	株式会社河合出版
―生誕120年記念―洋画家田代順七展図録	玉名市教育委員会 教育長 池田誠一
デイリーサピックス小学5年社会 江戸幕府の成立 2020年度版	株式会社日本入試センター (サピックス小学部)
デイリーサピックス小学6年社会 外交史②欧米諸国との外交の歴史 2020年度版	株式会社日本入試センター (サピックス小学部)
文芸小品集『揺蕩いて』	佐久間正城
社会科資料集 6年	株式会社悠工房

書籍名	寄贈者
世界遺産の里 崎津	小林健浩
世界遺産 キリシタンの里 ―長崎・天草の信仰史をたずねる―	本馬貞夫
第 67 回日本伝統工芸展	第 67 回日本伝統工芸展福岡展実行委員会委員長
潜伏キリシタン図譜－第4節抜き刷り－ 熊本天草：概説 熊本天草：遺物	平田豊弘
歴史群像 4 月号 APR.2021 No.166	株式会社ワン・パブリッシング第 2 メディアプロデュース部 歴史群像編集部
総合文化史 KUMAMOTO くまもと 季刊 No. 34 2021 年 3 月	熊本出版文化会館
令和2年度 文化庁「大学における文化芸術推進事業」実施報告書	「博物館と医療・福祉のよりよい関係づくり」の構築に向けた博物館マネジメント人材育成事業実行委員会
令和元年度指定 地域との協働による高等学校教育改革推進事業(地域魅力化型) 研究開発実施報告書(2 年次)	熊本県立上天草高等学校

(2)購入書籍一覧

書籍名	購入
永青文庫叢書 第二期 細川家文書 島原・天草一揆編	舒文堂河島書店
五島キリシタン史	
八代市文化財調査報告書第 32 集 キリシタン寺院跡 九州新幹線建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査 III	
キリシタン版日葡辞書の解明	八木書店
キリシタン世紀の言語学―大航海時代の語学書―	
キリシタンと出版	

(3)寄贈資料一覧

資料名	数量	寄贈者	寄贈日
北 八代作油絵 「ぶどう」	1	渡辺伸子	令和 3 年 2 月 18 日
北 八代作油絵 「けし」	1		
北 八代作油絵 「けし畑」	1		
北 八代作油絵 「像」	1		
北 八代作 「天草四郎奇蹟(天草四郎屏風)」デッサン	4		



「ぶどう」



「けし」



「けし畑」



「像」



「天草四郎奇蹟(天草四郎屏風)」 デッサン



天草四郎生誕400年事業 令和3年度企画展「天草四郎屏風と北 八代」
(令和3年4月28日(水)～5月31日(月)開催 ※臨時休館に伴い5月17日(日)に終了)

天草コレジヨ館
(令和2年度報告)

天草コレジヨ館運営委員会

令和2年度

委員長 玉木 譲

副委員長 森田 哲雄

委員 松岡 志保 山下 真奈美 西村 洋信 櫻田 京子

天草コレジヨ館職員

令和2年度

館長(キリシタン資料館管理係) 亀子 敬史(係長)

学芸員(同上) 稲津 貴久

副館長(同上) 岡部 京美(主査)

事務職員(会計年度任用職員) 福岡 拓文、江浦 信子、八谷小百合、丸山 淳、
梅田いつ子

(以上全て敬称略)

施設概要

構造 RC一部2階建(昭和62年3月25日新築、平成2年5月12日開館)

施設面積 1階883.10㎡ 2階501.30㎡

開館時間 8時30分～17時00分(最終入館16時30分)

休館日 木曜日(祝日の場合は翌平日)

12月30日、31日、1月1日(年間開館日数310日)



1階 エントランス



1階 展示室

1. 令和2年度事業報告【天草コレジヨ館】

(1) 展示活動

開催なし

(2) 各機関との連携事業

4月1日～3月31日	島鉄観光株式会社「天草グルメとキリシタン文化を巡る旅」協力 ※入館料減額
5月16日～7月5日	熊本県立美術館「細川忠利と三宅藤兵衛ー肥後にやってきた、光秀の孫たちー」資料貸出【肥後天草之図(松浦四郎氏蔵):1点】
7月10日～11月30日	九州産交ツーリズム株式会社「天草満喫キャンペーン」協力 ※入館料減額
10月1日～3月31日	九州産交ツーリズム株式会社「あまくさぐるっとクーポン」協力 ※入館料減額
10月14日～12月21日	天草キリシタン館「天草を治めた光秀の孫 仁義の侍 三宅藤兵衛」 資料貸出【肥後天草之図(松浦四郎氏蔵):1点】

(3) その他

新型コロナウイルス感染症防止に伴う臨時休館

期 間:令和2年4月15日(水)～5月31日(日)

天草市キリシタン資料館年報第1号発行

コレジヨ館案内看板設置

期 日:令和3年3月30日(火)

小・中学生学習活動時の「コレジヨ館のしおり」配布

期 間:通年

クリスマスイルミネーションの実施

期 間:令和2年12月13日(日)～

令和3年1月8日(金)



コレジヨ館案内看板



クリスマスイルミネーション

◎コレジヨ館活動報告

天草コレジヨ館では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、入館者数が令和元年度の3割程度まで減少した。これまで来館者への対応に充てていた時間を利用し、備品台帳の整理など、普段はすることのできない業務を行った。通常業務と合わせ下記の通り報告する。

◆収蔵資料確認業務(備品台帳整理)

備品台帳に基づき一点ずつ照合・一致・画像化・表示等の再点検を行う。下写真左から免震台、ルネサンスリコーダー、西洋衣装。点検する中で、管理について再認識した。



免震台



ルネサンスリコーダー



西洋衣装

◆小・中学生研修者への「コレジヨ館のしおり」配布

コレジヨ館を紹介するためのリーフレット、世界平和大使人形の館の各国の絵葉書、ゲーテンベルク印刷機の紹介(印刷方法を示す折り紙)等を入れた『コレジヨ館のしおり』を作成し、配布する。



◆平和を願う千羽鶴の作成

天草コレジヨ館では平和を願う施設に千羽鶴を送り、世界平和の願いを発信する。



ゲーテンベルク印刷機による印刷法

当時の効率的な印刷方法をご紹介します。まず、原版を図1のように配置します。片面に1～8ページを印刷し、もう片面には9～16ページを印刷します。1枚の紙の両面に1～16ページが印刷されることになります(図2)。さらにこの1枚の印刷物を8等分に折り(図3～4)、その2辺を裁断すると(図5)、一つのまとまりの印刷物となります。

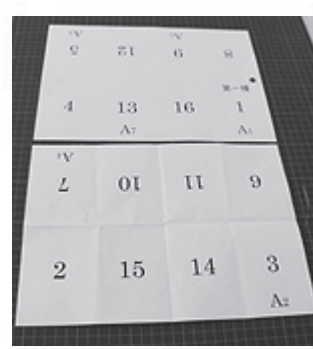


図1 原版の配置図

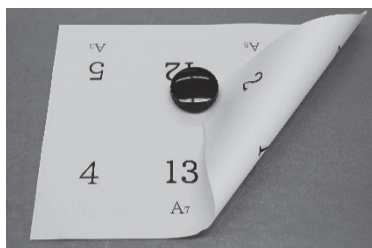


図2 両面に印刷されたページ

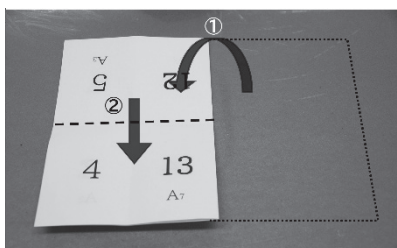


図3

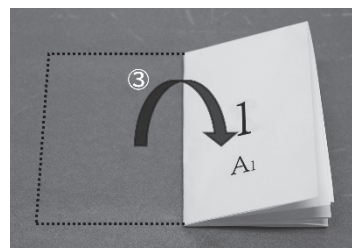


図4

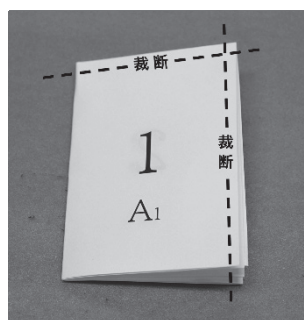
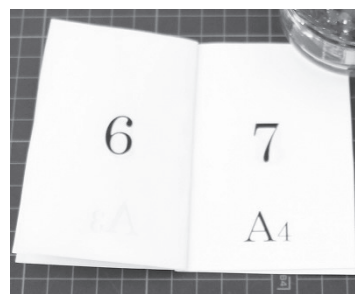


図5



完成図

豊島正之「日本の印刷紙からみたキリシタン版の特徴」(豊島正之編『キリシタンと出版』八木書店、2013年、89頁以下)115-118頁によると、「キリシタン版のラテン文字本は、四折(quarto)か八折(octavo)のどちらかであり」、「四折(quarto)・八折(octavo)は、全紙一枚から何丁を取るかを示し」、「印刷は、原則として全紙片面を一度に…印刷するから、四丁八頁・八丁十六頁の版面が、印刷後に折って切り出したときに天地を正しくして順番に揃う様に、全紙にあらかじめ配置せねばならない。これを imposition (「組み付け」・「面付け」)と呼ぶ。」と「版型と折」について詳細に示しています。(熊本県立小川工業高等学校教頭・天草コレジヨ館運営委員 西村洋信氏提供)

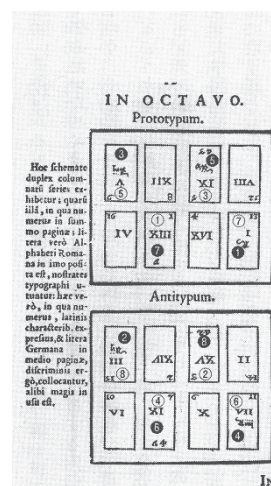


図6 Hornschuch (1608)
Ortho-graphia (複製本による)
より octavo の imposition

出典:豊島(2013) p.118

(4) 教育普及活動

◎体験学習

「平和学習」工作体験

(アマビエさまをつくりましょう

～天草の海より祈りをこめて～)

日 時:令和2年10月18日(日)

9:30～12:00

講 師:造形作家 gaju(本名 松岡志保氏)

参加者:11人(幼児含む)



熊本日日新聞の令和2年10月22日の「ふるさとNET」の記事には、「疫病を鎮めるとされる妖怪アマビエのオブジェ作り体験会」が開かれ、「参加者はアマビエの体に十字架やヒオウギガイなどを飾り付けて天草らしさを演出したと紹介される。

参加者からは、「コロナ収束の願いを込めながら、親子で粘土をこねたり、ノリではったりしながらアマビエさまをつくれたのが楽しかったです。早くおさまりますように。」「アマビエさまをつくりながらコロナがはやくなくなって、ともだちとあそびたいとおもいました。」などといった感想をいただいた。



「ふるさと NET」天草流 アマビエできた」

(『熊本日日新聞』2020.10.22)

◎市内小中学生見学受け入れ

令和2年度 7校 203人(述べ7回、引率者を含む)

10月 2日 天草市立天草中学校	12月 11日 天草市立牛深中学校
10月 13日 天草市立牛深東中学校	3月 10日 天草市立河浦小学校
10月 30日 天草市立本渡東中学校	3月 19日 天草市立新和中学校
11月 10日 天草市立栖本中学校	

(5)視察・研修受け入れ

令和2年度 9件 50人

4月	受入なし ※15日より臨時休館	
5月	受入なし ※1日～31日まで臨時休館	
6月	2日	天草キリシタン館職員研修
7月	受入なし	
8月	5日	旭観光旅行関係者下見
	13日	ポルトガル駐日大使館一等書記官視察
9月	18日	立原老人会研修
10月	7日	通訳案内士下見
	18日	ケーブルテレビ取材(平和学習)
	18日	熊本日日新聞社取材(平和学習)
	30日	天草工業高等学校インターンシップ研修
11月	受入なし	
12月	受入なし	
1月	18日	熊本県立天草拓心高等学校(マリン校舎)見学
2月	22日	オフィス・マリオネット(日色ともゑ様)視察
3月	受入なし	

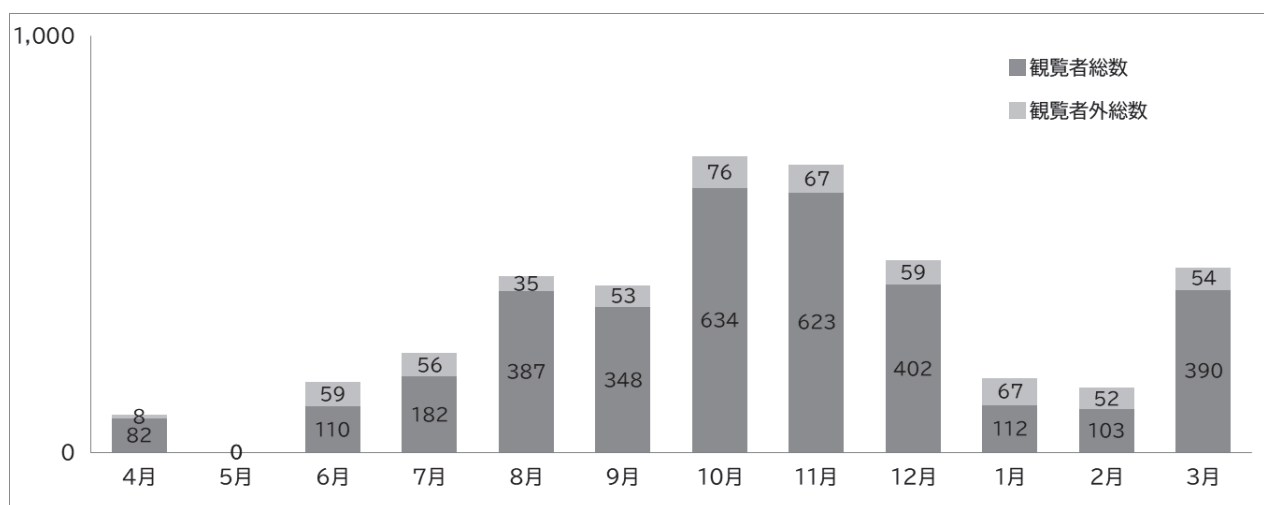
○熊本県立天草工業高等学校機械科(活版印刷班) 活版印刷実演・体験

令和2年11月24日(火)、天草工業高等学校機械科の生徒7人の研修が行われた。活版印刷機の構造に興味深げにのぞき込み、「巻き取り機の仕組みがわかった」と歓声を上げていた。高校で取り組んでいる印刷機の制作に活かせる学習成果となった。



天草工業高等学校機械科生徒(活版印刷班)の研修のようす

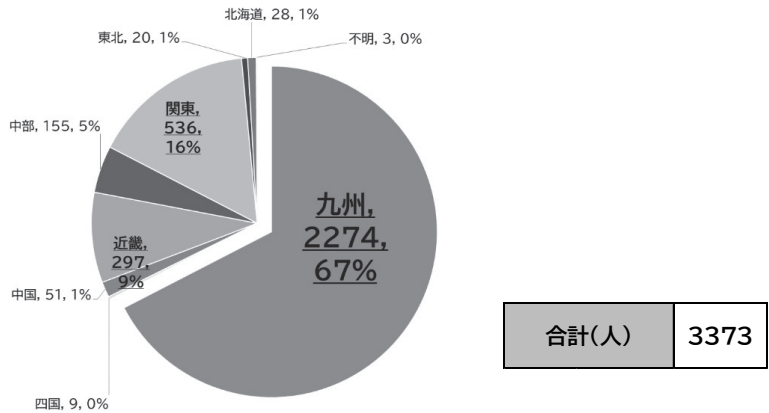
(6) 令和2年度来館者動向 (単位:人)



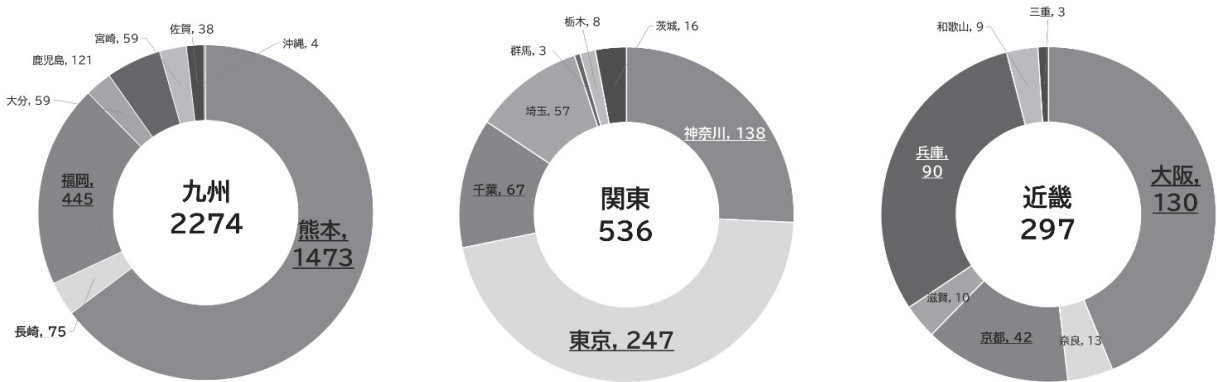
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
個人	一般	35	0	80	123	282	278	421	482	301	77	83	236	2,398
	高校生	1	0	0	0	1	2	0	1	2	0	1	3	11
	小・中学生	0	0	0	3	22	5	1	8	6	2	0	22	69
団体	一般	0	0	0	27	0	0	31	0	0	3	3	23	87
	高校生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小・中学生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無料	一般	46	0	30	25	75	61	102	103	44	14	15	52	567
	高校生	0	0	0	0	0	1	0	6	0	13	0	0	20
	小・中学生	0	0	0	4	7	1	79	23	49	3	1	54	221
観覧者総数		82	0	110	182	387	348	634	623	402	112	103	390	3,373
観覧者外総数		8	0	59	56	35	53	76	67	59	67	52	54	586
来館者総合計		90	0	169	238	422	401	710	690	461	179	155	444	3,959

◆令和2年度都道府県別入館者統計

1. 地域別総入館者数(地域, 総入館者数, 割合)



2. 各地域内訳 ※入館者数が多い3地域のみグラフ化。(都道府県名, 入館者数)



九州	熊本	1473
	長崎	75
	福岡	445
	大分	59
	鹿児島	121
	宮崎	59
	佐賀	38
	沖縄	4
合計(人)		2274

中国	山口	5
	広島	37
	岡山	6
	島根	3
	鳥取	0
	合計(人)	51

近畿	大阪	130
	奈良	13
	京都	42
	滋賀	10
	兵庫	90
	和歌山	9
	三重	3
	合計(人)	297

四国	香川	0
	徳島	0
	高知	3
	愛媛	6
合計(人)		9

中部	静岡	27
	愛知	88
	岐阜	9
	福井	0
	石川	7
	富山	2
	新潟	3
	長野	10
	山梨	9
合計(人)		155

関東	神奈川	138
	東京	247
	千葉	67
	埼玉	57
	群馬	3
	栃木	8
	茨城	16
合計(人)		536

東北	福島	11
	山形	2
	宮城	6
	秋田	0
	岩手	0
	青森	1
合計(人)		20

北海道		28
合計(人)		28
不明		3
合計(人)		3

合計(人)	3373
-------	------

2. 寄贈・購入資料報告

(1) 寄贈書籍一覧

書籍名	寄贈者
日本キリシタン殉教史 片岡弥吉全集1	西村洋信
踏絵かくれキリシタン 片岡弥吉全集2	
ハンドプレス・手引き印刷機	板倉雅宜
タイポグラフィ論攷	

(2) 購入書籍一覧

書籍名	購入
該当なし	

(3) 寄贈資料一覧

資料名	数量	寄贈者	寄贈日
該当なし			

天草ロザリ才館
(令和2年度報告)

天草ロザリオ館運営委員会

令和2年度

委員長 瀨名 正光

副委員長 田崎 茂子

委員 松浦 四郎 毛利 淳子 浦口 文和 田中 光徳

天草ロザリオ館職員

令和2年度

館長(キリシタン資料館管理係) 亀子 敬史(係長)

学芸員(同上) 稲津 貴久

副館長(同上) 岡部 京美(主査)

事務職員(会計年度任用職員) 松本 泰博、小崎 弘幸、宮崎 美根子、斎藤 幸子、
平畑 恵美、堀口 文子、住友 里恵

(以上全て敬称略)

施設概要

構造 RC地上一部2階建(昭和63年4月23日開館)

施設面積 1階482.55㎡ 2階129.17㎡ 計611.72㎡

開館時間 8時30分～17時00分(最終入館16時30分)

休館日 水曜日(祝日の場合翌平日)

12月30日、31日、1月1日(年間開館日数309日)



1階 映像ホール



1階 展示ホール

1. 令和2年度事業報告【天草ロザリオ館】

(1) 展示活動

天草ロザリオ館歴史トピック展

「明智光秀の孫たち ―細川忠利と三宅藤兵衛のルーツ―」

期 間：令和2年10月10日(土)～12月21日(月)

(2) 各機関との連携事業

4月1日～3月31日	島鉄観光株式会社「天草グルメとキリシタン文化を巡る旅」協力 ※入館料減額
7月10日～11月30日	九州産交ツーリズム株式会社「天草満喫キャンペーン」協力 ※入館料減額
10月10日～12月13日	大分県埋蔵文化財センター令和2年度企画展「大友氏の映画 IV BVNGO NAMBAN ―宗麟の愛した南蛮文化―」資料貸出【ヴェ ロニカのメダイ:2点、キリストとマリアのメダイ:1点】
10月1日～3月31日	九州産交ツーリズム株式会社「あまくさぐるっとクーポン」協力 ※入館料減額

(3) その他

新型コロナウイルス感染症防止に伴う臨時休館

期 間：令和2年4月15日(水)～
5月31日(日)

天草市キリシタン資料館年報第1号発行

クリスマスイルミネーションの実施

期 間：令和2年11月29日(日)～
令和3年3月3日(日)

主 催：大江地区振興会



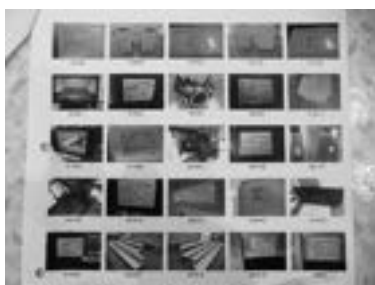
クリスマスイルミネーション

◎ロザリオ館活動報告

新型コロナウイルス感染症拡大の影響による来館者減少に伴い、来館者のいない時間を有効的に活用するため、備品台帳の整理や書籍の整理を行う。同時に、併設する玩具資料館に収蔵する人形の確認と整理を行った。以下の通り報告する。

◆収蔵資料確認業務(備品台帳整理)

備品台帳に基づき、備品の確認を行う。備品の状態、備品シールの確認、照合、備品写真を撮影して台帳を整備し、備品シールのないものは作成する。また、未登録の物品については新たに登録した。



書籍の確認・整理・登録作業



整頓後の2階収蔵庫



収蔵されている人形の確認・整理作業



花壇の手入れ(通年)

(4)教育普及活動

◎市内小中学生見学受け入れ

令和2年度 7校 177人(延べ7回、引率者を含む)

10月 2日 天草市立栖本小学校

2月 8日 天草市立五和中学校

10月 30日 天草市立本渡東中学校

2月 25日 天草市立有明小学校

11月 10日 天草市立栖本中学校

3月 19日 天草市立新和中学校

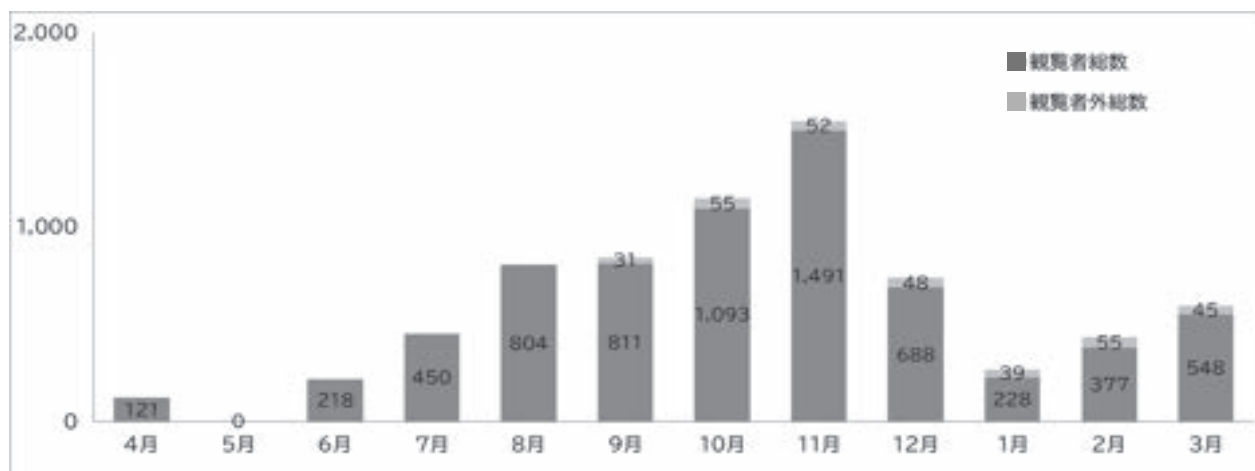
11月 20日 天草市立天草小学校

(5)視察・研修受け入れ

平成31年度・令和元年度 15件 245人

4月～5月		受入なし ※4月15日～5月31日まで臨時休館
6月	2日	キリシタン館職員研修
7月	受入なし	
8月	1日	西鉄観光バスガイド研修
9月～3月		受入なし

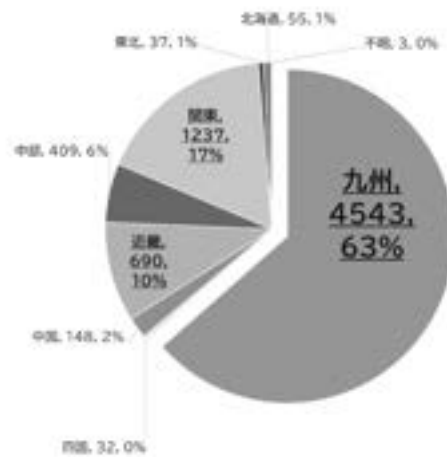
(6)令和2年度来館者動向(単位：人)



		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
個人	一般	100	0	184	383	631	708	847	1,148	602	172	254	436	5,465
	高校生	2	0	2	20	10	2	0	3	0	2	1	2	44
	小・中学生	5	0	3	0	64	23	2	19	9	11	2	24	162
団体	一般	0	0	0	0	0	0	75	129	0	0	0	0	204
	高校生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小・中学生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	61	0	61
無料	一般	12	0	28	34	80	66	114	143	66	43	30	61	677
	高校生	0	0	0	1	0	1	3	2	1	0	0	0	8
	小・中学生	2	0	1	12	19	11	52	47	10	0	29	25	208
観覧者総数		121	0	218	450	804	811	1,093	1,491	688	228	377	548	6,829
観覧者外総数		0	0	0	0	0	31	55	52	48	39	55	45	325
来館者総合計		121	0	218	450	804	842	1,148	1,543	736	267	432	593	7,154

◆令和2年度都道府県別入館者統計

1. 地域別総入館者数(地域, 総入館者数, 割合)



合計(人)	7154
-------	------

2. 各地域内訳 ※入館者数が多い3地域のみグラフ化。(都道府県名, 入館者数)



九州	熊本	2685
	長崎	154
	福岡	1075
	大分	87
	鹿児島	311
	宮崎	117
	佐賀	104
	沖縄	10
合計(人)		4543

中国	山口	43
	広島	76
	岡山	24
	島根	5
	鳥取	0
合計(人)		148

近畿	大阪	277
	奈良	43
	京都	106
	滋賀	36
	兵庫	197
	和歌山	13
	三重	18
合計(人)		690

四国	香川	7
	徳島	2
	高知	6
	愛媛	17
合計(人)		32

中部	静岡	62
	愛知	244
	岐阜	32
	福井	2
	石川	16
	富山	5
	新潟	9
	長野	29
	山梨	10
合計(人)		409

関東	神奈川	255
	東京	624
	千葉	130
	埼玉	166
	群馬	15
	栃木	16
	茨城	31
合計(人)		1237

東北	福島	7
	山形	4
	宮城	12
	秋田	4
	岩手	3
	青森	7
合計(人)		37

北海道	55
合計(人)	55

不明	3
合計(人)	3

合計(人)	7154
-------	------

2. 寄贈・購入資料報告

該当なし

資 料

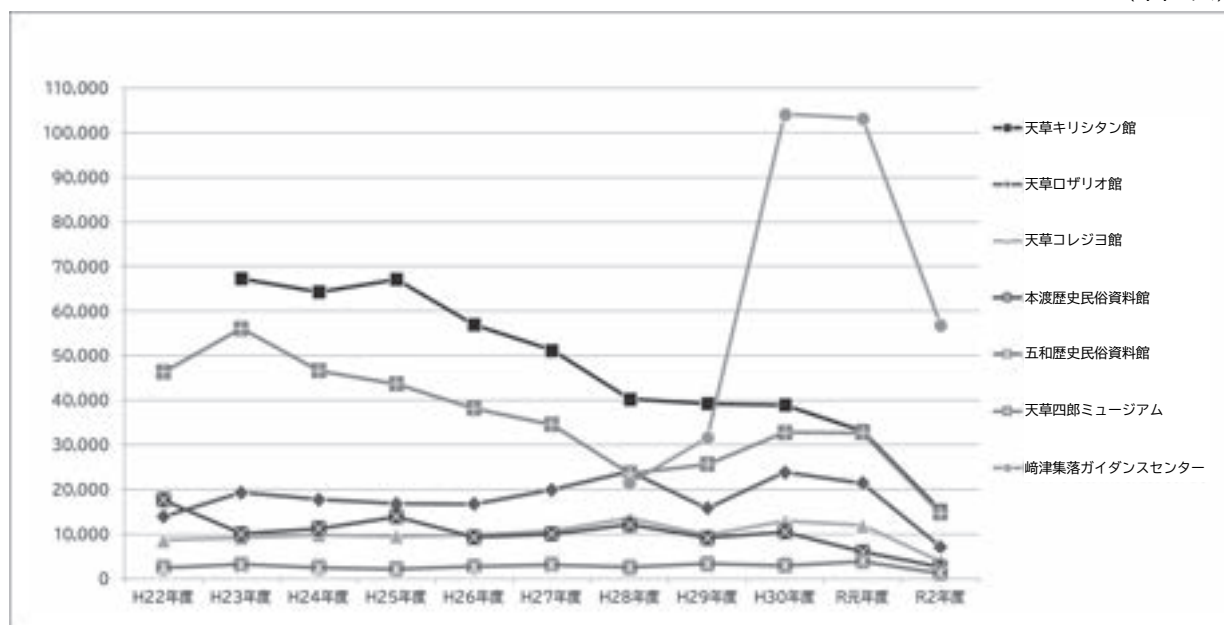
1. 天草地域各施設の入館者推移
2. 資料確認作業及び資料評価・選別について
3. 熊本大学安高啓明研究室による
産官学連携事業の紹介
4. 上田家文書調査第一次中間報告

1. 天草地域各施設の入館者推移

担当:平田 豊弘

	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	前年度比
天草キリシタン館		67,323	64,321	67,169	56,986	51,287	40,308	39,288	39,008	33,224	15,361	-17,863
天草ロザリオ館	13,961	19,338	17,765	16,808	16,756	19,983	24,004	15,814	23,848	21,478	7,154	-14,324
天草コレジヨ館	8,667	9,243	9,900	9,543	9,770	10,738	13,580	9,798	12,922	12,024	3,959	-8,065
本渡歴史民俗資料館	17,699	10,111	11,304	13,973	9,300	10,054	12,161	9,161	10,486	6,053	2,602	-3,451
五和歴史民俗資料館	2,533	3,251	2,494	2,232	2,735	3,117	2,606	3,408	2,963	3,915	1,254	-2,661
天草四郎ミュージアム	46,313	56,132	46,631	43,678	38,216	34,606	23,612	25,710	32,789	32,733	14,752	-17,981
崎津集落ガイドセンター	—	—	—	—	—	—	21,462	31,618	104,176	103,205	56,884	-46,321

(単位:人)



【入館者推移】

令和2年度の天草地域各施設の入館者は、全ての施設で激減している。前年度と比較し、崎津ガイドセンター55%、天草キリシタン館46%、天草四郎ミュージアム45%、本渡歴史民俗資料館42%、天草ロザリオ館・天草コレジヨ館・五和歴史民俗資料館は33%の入館者であった。また、平成30年度と令和元年度を比較すると、現状を維持したのは天草四郎ミュージアムで、他の施設は全て減少しており世界遺産登録の効果が薄れコロナウイルスの影響により大きく下落している。

なお、天草四郎ミュージアムは、令和2年度に映像ソフトを改修し、熊本大学との連携により企画展を開催する体制を整えた。また、隣接地に市立図書館が建設中である。さらに、前島のミオ・カミーノ(上天草市が設置し民間企業が指定管理者制度で管理運営)横には、民間企業により天草パールセンターがリニューアルされているが、水族館を含む施設全体で令和元年度227,000人、令和2年度127,000人であった。今後、物産販売、水族館に加え体験型、コト消費といったソフト事業を強化する予定で、リニューアル後は年間375,000人の来場を目指している。このような中、天草市では天草市キリシタン資料館整備活用実施計画の策定を進めている。

2. 資料確認作業及び資料評価・選別調査について

担当:稲津 貴久

令和元年度に天草市の歴史民俗資料館及び天草キリシタン資料館での不適切な資料管理が確認された。そこで、令和2年5月より天草キリシタン資料館3館収蔵資料の詳細な確認作業を行った。その作業内容について報告する。

1. 収蔵資料の確認について

①天草ロザリオ館・天草コレジヨ館の収蔵資料一覧表(本渡歴史民俗資料館作成)に記載されている資料名と収蔵資料の照合、一覧記載資料の展示場所・保管場所の再確認。また併せて、収蔵資料へのマーキングの再確認も行った(※1)。

※1 天草キリシタン館は一覧表を作成していたため、確認作業は立石学芸員が実施する。

②天草ロザリオ館・天草コレジヨ館2館分の収蔵資料の寄託資料の確認と寄託者の特定作業。

→ 寄託資料の所有者更新を10年以上していなかったため、住所、連絡先、現在の所有者の再確認。所有者は判明しても、連絡先等が不明といった資料も多数あった。

③熊本大学の安高啓明准教授(天草キリシタン館運営委員)に、天草キリシタン資料館3館の資料評価・選別調査を依頼し、資料状態と資料の評価をA～Dで採点し、併せて評価額を算出する。(※2)。令和2年度は9月、11月、2月の計3回(計17日間)調査を実施。

・1回目 調査日数:5日間 計346点

・2回目 調査日数:7日間 計406点

・3回目 調査日数:5日間 計251点 評価済資料:1003点

未評価資料:約1000点以上

※2 資料評価選別調査は令和3年度も実施予定。

④天草ロザリオ館の油性ペンによるマーキング資料について、九州国立博物館の協力により(修復専門業者と修復担当学芸員)、修復が可能か不可能かを判断していただいた。令和3年度から2箇年で修復を依頼する予定(修復の依頼の時期についてはR3年は8月から3月まで、R4は未定)。

⑤令和3年3月から寄託資料所有者と、今後の資料の取り扱い・マーキングのあった資料について、修復作業の説明と修復許可をいただく協議を実施。

○その他報告事項

・③について、資料調査中(11月調査)に、天草ロザリオ館2F収蔵庫内に保管されている上田家文書から、潜伏キリシタン関係文書22点を新たに確認する。

・天草コレジヨ館収蔵資料である園田博之資料の一部を天草アーカイブズに移管。

【資料確認作業までの経緯】

*平成18年3月、2市8町が合併して天草市が誕生する。各自治体から引き継いだ歴史・民俗資料を中心に展示する資料館6館、キリシタン資料を展示する資料館3館、自然科学(化石)資料を展示する資料館1館、その他1館の計11館は、資料台帳、評価基準も異なり、新市での管理運営に関する課題と認識された。このため、資料台帳の平準化と確認作業が実施されるが、担当する学芸員が不在となり、作業手順がないまま油性ペンでの資料ナンバリングが行われた。その後、令和元年度に再確認作業を実施し所有者への報告および修復に着手する。(平田)

3. 熊本大学安高啓明研究室による産官学連携事業の紹介

安高啓明（熊本大学大学院人文社会科学研究部准教授）
山下葵（熊本大学大学院修了、岡崎市美術博物館学芸員）
川端駆（熊本大学大学院社会文化科学教育部2年）
山田悠太郎（熊本大学大学院社会文化科学教育部1年）

はじめに

本事業は、天草市立天草キリシタン館常設展示室入り口において、熊本市に本社を置く(株)ツカサ創研が製作した展示ケースに、熊本大学安高啓明研究室が所有する歴史資料をテーマに応じて展示するものである。大学の研究成果を社会へ還元し、地域に貢献する活動が求められて久しい。各大学では大学博物館がこの機能を担っているが、個人教員の研究室による地方自治体と連携した継続的な事業は珍しいであろう。本事業は2016年12月から始まり、年に2～3回のテーマ展示を行なっている。

本事業の趣旨は、前述した大学による研究成果の発信と地域貢献にあるとともに、将来学芸員への就業を目指す院生・学生の実践教育の機会とすることである。教員の与えたテーマをもとに、学生たちで解説文を考え、説明パネルや配布資料を作成する。また、博物館での展示作業を学生主体で行ない、学芸員がやるべき業務の経験を積んでいる。展示ケースを提供した(株)ツカサ創研は、安高研究室と協議してケースを製作、無償で提供してくれたが、これは博物館関連業者としての社会貢献にほかならない。本事業を通じて、企業メセナとしての活動を来館者に認識してもらい、博物館関係者にもケース製作の技術が伝わる機会になるものと考えている。展示ケースを設置した天草キリシタン館では、来館者へのサービス向上につながり、博物館活動を支える調査研究を大学のバックアップで行うことができる。ここには自治体・企業・大学の三者にとって“トリプル・ウィン”となる関係を築くことができる事業として展開している。

令和2年度のテーマ展示

令和2年度は、二つの企画で展示を行なった。ひとつは、「異国のすき間風」というもので、鎖国時代、外国人の自由な往来は禁じられていた社会状況を取り上げた。出島にオランダ人、唐人屋敷で中国人が主に生活していたが、彼らの存在は、多くの日本人に知られるところであった。版画などでオランダ人や中国人の生活などが描かれたが、これらは長崎版画と呼ばれ、土産品として販売・購入されている。日本人と外国人との接触が制限されていながら、こうしたモノを通じた文化的接触があったことを紹介した内容である。

もうひとつが、「忠利と藤兵衛―天草を駆けた光秀の孫」である。NHK大河ドラマ「麒麟がくる」にあわせたもので、明智光秀の孫にあたる、細川忠利と三宅藤兵衛の二人が、島原天草一揆でどのような事績にあったかを紹介した。時宜にあわせた企画テーマとし、天草キリシタン館で行なわれた特別展「天草を治めた光秀の孫 仁義の侍 三宅藤兵衛」とも関連付けた展示とした。

事業報告

博物館は、さまざまな資料・作品を通じて歴史・文化を知覚し、学習する文化施設である。博物館の展示は、来館者主導による学習機会であり、自発的な学びの拠点である。また、我々が何気なく送っている日常生活が、「堅苦しい」・「難しい」と思われがちな歴史の世界と無関係に存在しているわけではないことを実感する場でもある。安高研究室では、近世天草を対象とした歴史研究や、キリシタン研究を行っており、天草キリシタン館の展示趣旨とも共通することが多い。私たちは熊本大学文学部歴史学科に所属する学生として、地域の歴史を来館者や地域住民の方にわかりやすく紹介すること、そして楽しく伝えることを目標に活動してきた。また、学生目線にたって、研究成果を一般社会と連結するように意識してきた。

「天草キリシタン史を中心とした歴史」をテーマとする天草キリシタン館常設展の入り口に、展示コーナーを設けてもらっている。昨年度は、宗門改として行われた踏絵の地域性や、近世日本における数少ない異国との接点であった長崎文化など、天草とその周辺地域に注目した展示を行ってきた。過去の出来事や制度がどのような意義を持っていたのかを読み解き、現代社会との接点を来館者に提供できるように心がけている。なお、学芸員経験のある先生の指導のもと、学生が主体となって行っているこの企画は、小中学生から高齢者まで、幅広い年齢層の来館者を想定しながら、展示構成を考えている。また、限られたスペースのなかで、来館者を視覚的に惹きつけるための工夫も必要で、要点を絞った解説文の作成など試行錯誤しながら展示を作り上げている。資料をただ並べるだけではなく、これを引き立たせる展示方法も考えながら活動した。

活動の足跡を残すものとして、簡単な配布資料も作成している。私たちが大学で学び、研究成果として蓄積してきた情報を、これらの配布資料や展示キャプションなど親しみやすい形で発信している。天草キリシタン館の主役でもある常設展の導入として、また、ひと通り展示をご覧いただいた後の振り返りとして、気軽に手にしてもらえればと思っている。

今後も定期的に展示替えを行ない、歴史という地域の貴重な資源を学生視点からの発想によって紹介していくつもりである。熊本大学の学生として、自分たちの同世代である天草市内の中高生に興味を持ってもらい、天草キリシタン館に足を運ぶきっかけとなるように努力したいと考えている。私たちの企画が、歴史と地域とを結びつける媒介となり、多くの方々の郷土や成り立ち、日々の生活を見つめなおすきっかけとなればと思っている。安高研究室に所属する学生として、今後も天草キリシタン館の活動を支えていければ幸いである。



「異国のすき間風」展示風景



「忠利と藤兵衛」展示風景

4. 上田家文書調査第一次中間報告

—新出キリシタン関連文書—

熊本大学大学院人文社会科学研究所

准教授 安高啓明

はじめに

本稿は、令和2(2020)年9月25日～29日(5日間)、11月4日～10日(7日間)、2月22日～26日(5日間)の三期(計17日間)に分けて、天草市立天草キリシタン館・天草コレジヨ館、天草ロザリオ館を調査した報告(第一次中間)である。各館の寄託資料を中心に評価査定し、今期は全1003点の調査が終了した。このなかでも、天草ロザリオ館で管理されている上田家文書555点を調査したなかで、熊本県指定有形文化財(書跡)から遺脱したものが確認され、喫緊の整理が求められる資料群であることがわかった。

現在調査が終わった上田家文書549点の資料は、先にまとめられている『天草上田家文書目録』と共通する分類にあたり、土地台帳や年貢皆済帳といった冊簿が多数ある。また、膨大にある切紙・一紙形態のものからはキリシタン関連文書が新たに見つかった。上田家文書には天草崩れに関する文書が含まれていることは周知の通りであるが、これよりも遡る文書が新出した意義は大きい。そこで、本論文では新出のキリシタン関連文書について取り上げ、潜伏キリシタン関連遺産の学術的評価を補填する材料として提供したい。

1 新出上田家文書群キリシタン関連文書の概要

本調査で新たに発見されたキリシタン関連文書の概要を示すと、次に掲げる表になる。全22点の資料は、大きく二つに分類することができ、その性格について下記していく。

上田家文書—新出キリシタン関係文書一覧

番号	資料名	年代	形状/法量	内容	仮番号
1	御請書	文化4 (1807)年	縦帳 26.5×20.0	宗門改を嚴重に行うことの口達写。10丁	2-1
2	天草郡壱町田村転切支丹四郎兵衛玄孫むめ倅 高濱村百姓長三郎病死手形払	近世(子8月22日)	包紙 36.5×5.5	転びキリシタンの倅が病死したため人別払の包紙のみ	2-2-1
3	戒弟人数書立覚帳	文政5 (1822)年	横帳 13.5×37.0	高濱村の異宗回信者143人の名簿 上田源太夫が富岡役所に提出	2-46
4	天草郡壱町田村転切支丹四郎兵衛玄孫むめ倅 高濱村百姓権太郎病死手形払ひかへ	近世(子9月5日)	包紙 38.0×7.0	転びキリシタンの倅が病死したため人別払の包紙のみ	2-47
5	天草郡壱町田村転切支丹四郎兵衛玄孫むめ倅 高濱村百姓権太郎病死手形払	近世(子9月5日)	一紙 26.0×19.5	転びキリシタンの倅が病死したため人別払の手形	2-48
6	指上申一札之事(長三郎死去届け)	享保5 (1720)年	一紙 31.0(タテ)	キリシタン類族の長三郎の死去を伝える報告書	2-49

7	指上申一札之事(権太郎死去届け)	享保5 (1720)年	一紙 31.0(タテ)	キリシタン類族の権太郎(長三郎の弟)が病死したための報告書	2-50
8	書状(類族源右衛門女房死去につき届け)	近世(4月20日)	折紙 26.0×40.0	類族源右衛門女房の死去と存命者を一町田村市左衛門から高濱村伝右衛門へ報告	2-51
9	書状(類族出生について届け)	近世(正月29日)	一紙 26.0×22.0	長三郎女房が男子を出生したが類族であるため報告され、子供は除帳すると高濱村庄屋丈右衛門に宛てる	2-52
10	口上(長三郎病死につき報告)	近世(8月26日)	一紙 25.5×19.0	長三郎病死のため人別帳との照合を大江村角右衛門から高濱村庄屋友右衛門に連絡をしている	2-53-1
11	(虫損) 指上申手札□□□	近世	一紙 30.5(タテ)	高濱村むねのことについて記す	2-53-2
12	指上申一札之事(類族むめ病死手形控)	近世	一紙 31.0(タテ)	高濱村むねのことについて記す	2-54
13	指上申一札之事(源右衛門娘いね死去につき届け)	近世	一紙 31.0(タテ)	高濱村源右衛門娘いね(母親はむめ)が病死したことにつき報告	2-55
14	書状(類族倅死去につき報告)	近世(子7月11日)	一紙 13.5(タテ)	類族が病死したため崎津番所に連絡し、死骸改をお願いしている	2-56
15	覚(類族一家書付)	近世(巳閏5月19日)	折紙 30.0×42.0	類族むめからの家族構成を類族根帳の通り記し一町田村庄屋市左衛門から高濱村庄屋友右衛門へ宛てる	2-57-1
16	口上(源右衛門娘縁付につき類族根帳写)	近世(閏5月21日)	折紙 26.5×38.0	類族が縁組するにあたり類族根帳を写す	2-57-2
17	書状包(高濱村と友右衛門宛て)	近世	包紙 14.0×4.5	一町田村市左衛門から高濱村友右衛門に宛てた書状の包紙のみ	2-57-3
18	書状(類族権太郎病死の報告)	近世(9月17日)	折紙 12.5×40.0	類族権太郎病死につき役所へ報告、類族存命人数の書き上げを一町田村傳兵衛から高濱村友右衛門に宛てている	2-58
19	書状(縁組につき類族除く)	近世(辰12月24日)	竪紙 27.5×41.0	源右衛門娘縁組につき類族帳から除くように申し付けている。源八郎から高濱村傳右衛門に宛てる	2-59
20	指上申一札之事(類族表紙手形控)	近世	一紙 26.0(タテ)	(虫損) 源右衛門倅□松(虎松か)が病死したため届け出、死骸改などについて記す	2-2-149
21	指上申手形之事(長三郎病死寺手形)	享保5 (1720)年	切紙 27.0×14.0	百姓長三郎が病死したことにより江月院が墓所に土葬したことを確認したとして富岡役所に提出した手形の写	2-2-150
22	書状(類族死亡につき届け)	近世(8月24日)	一紙 13.5×39.0	一町田村類族源右衛門倅長三郎が死亡したため一町田村大庄屋伝兵衛と高濱村友右衛門宛てる	2-3-276

(1) 宗門改に関する資料

表番号1・3がこれに相当し、文化2(1805)年の天草崩れ以降、高濱村で宗門改がどのように実施されていたのか、そして天草崩れの処分を村方がどのように認識していたのかを知ることが

できるものである。具体的な資料内容については後掲するが、異宗回信者を村方で厳重に管理していたことがうかがえる。天草崩れにより、潜伏キリシタンの存在が露見し、心得違いとして釈放された百姓を抱える大江村・高濱村・崎津村・今富村の四ヶ村では絵踏（影踏）を二度行なうとともに、宗門改帳を別帳化するなど、他の村方とは異なる対応がとられるようになったことは周知の通りである。これは、潜伏キリシタンたちが邪宗ではなく、異宗を信仰していたという解釈に立って、幕府に「心得違い」と判断されて放免する条件として行なわれたのである。この二つの文書からは、その実態が示されており、天草で展開されていた宗教政策にあわせて、人別管理が徹底されていたことがわかる。そして、これは四ヶ村の連携した動きとしてとらえる必要があり、情報共有も図られていたと推知される。別の上田家文書には、「当時他村とちかひ高濱と今富は一村同様二不仕候而難成二付」（「書状」仮番号 2-5-509）ともあるように、高濱村庄屋上田家（宜珍家）・今富村庄屋上田家（定温：宜珍弟）の関連性が示される。また、天草崩れで潜伏キリシタンを検挙するにあたり、これらの村々が協力していたことから裏付けられ、近隣村が紐帯をなして対応にあたっていたのである。近世の地域社会の実状を宗門改の実態から浮き上がらせることができる。

（２）類族改に関する資料

上記の２点の文書以外は、類族改に関する資料である。年代確定できるものとして享保５（１７２０）年のものがあるが、その他の資料も同年代のものと考えられ、島原天草一揆後にどのような禁教政策が展開されたのかを知ることができる。平成８（１９９６）年３月に天草町教育委員会により発刊された『天草上田家文書目録』の中で、確認できる宗門改に関する資料は、寛永１０（１６３３）年「高濱村御門徒人数付之帳」が最下限であり、これについて享保５（１７２０）年１１月「宗旨御改絵踏帳 高濱村控」がある。本調査で確認されたのは、享保５年８月２２日付の文書で、その価値の高さはいうまでもないだろう。

類族改は貞享４（１６８６）年に、幕府の禁教政策下に制度化されている。その内容を簡単に示せば、かつてキリシタンであった者（本人）、キリシタンであったが仏教徒に転じたもの（転びキリシタン）、親が仏教徒に転じる前に生まれた子供（本人同前）を監視対象としたものである。そして、キリシタンの親族で、男系は五代、女系は三代にわたって、人別の移動や生死を毎年７月・１２月に報告させるとともに、「類族」として登録させた。また、死亡した際には、宗門改役が立ち会うこととなり、行政上の管理体制が築かれた。元禄８（１６９５）年にはキリシタン類族の移住を原則禁止とし、離婚、旅行なども制限されている。こうして作成された類族帳は登録原簿であり、宗門改帳や五人組帳と同様に各地で作成されているものの、全国的には断片的にしか現存しないといわれる。表で記した資料は、整然と管理された類族帳ではないが、類族が病死した際の対応などを記した一次資料であり、類族を巡る行政手続きの状況が示される資料として高く評価することができる。

２ 資料翻刻と概要

本節では上記した（１）宗門改に関する資料から１点、（２）類族改に関する資料から２点を紹介する。特に、（２）については、虫損が著しい資料が多いが、そのなかから比較的状态が良質のものを選択して翻刻していることを付記しておく。

（１）宗門改に関する資料

「御請書」（表番号１ 仮番号２－１）は文化４（１８０７）年に高濱村で作成された文書の控えである。全部で１０丁からなる竖帳である。

〔表紙〕
御請書

高濱村控

文化四卯年四月

〔本文〕
御請申上候一札之事

口達

宗門之儀者前々々嚴重ニ被仰出も有之候処、其方共儀者親々申教ニ任セ内蜜^(ママ)己法を持、去々年吟味請候而心得違之旨一統相弁後悔致、以来怪敷風儀可相止段申立候ニ付、格別之以^(平出)御寛恕御咎之不被及御沙汰、安穩ニ家業相暮候義者、偏ニ^(平出)御慈悲故之儀ニ候条、此旨亡却不致御汰度之筋堅相守、去々年糺方之砌^ヲ毎度申聞候趣弥心得違不致、銘々旦那寺宗門尊信可致候、若被仰出之趣不相用、やはり怪敷法儀取行候者者急度御仕置可被仰付候間、不審成もの及見聞候半者、親疎之無差別早速可申出、隱置外^ヲ於致露頭者当人者勿論乍存不申出者共迄、急度御咎可被仰付事ニ候条畧々心得違致間敷候、右之通被仰渡候趣一統承知奉畏候、家内之もの江も畧々申教、急度相守可申候、依之御請印形仕差上申候、

文化四年

卯四月

傳平後家定之助家内別竈人 たつ

家頭 嘉兵衛

同 貞吉

(以下男四名)

弥三右衛門後家久之丞家内別竈人 とめ

家頭 弥太郎

同 文五郎

(以下男十五名)

喜平伯父 平助

家頭 陣助

同 五作

同 陣平

家頭傳平代 次郎右衛門

家頭 蜜兵衛

同 仁左衛門

(以下五五名)

右之通御請書奉差上候ニ付奥書印形仕候、以上、

高濱村庄屋 上田源作

富岡御役所

これは、天草崩れの裁き以降における高濱村での動向を示したものである。先祖から伝わる自法を内密にもち、2年前に検挙されるに至ったが、心得違いをしていたことを「後悔」しているとし、裁きにあたっても格別の「御寛恕」を受けたことに改めて謝意を記している。そして、平穩に日常生活を送れているのは「御慈悲」を賜われたためであり、これを忘れることがないように禁教を守っているとする。もし、村内で怪しく不審な様子がみられたら、別け隔てなく富岡役所まで届け出ることを誓っている。また、隠し置いていて他所から明らかになったならば、本人はもとより、申し出なかった者も含めて、厳しい咎めを受け入れるとし、心得違いをしないように誓っている。このことは、家内の者にも教示するとし、家頭八十七名の連署とともに、高濱村庄屋・大江組大庄屋の奥書印形を以って公文書として富岡役所に提出した。本資料はこの文書の控えになる。

ここには、天草崩れの裁きを異例のものとして村方が受け止めていることが強調されている。従前であれば、キリシタンとして厳刑に処された可能性があったものの、「御寛恕」や「御慈悲」によって、平常な日常を送れていることに村方から改めて謝意が示された。天草崩れは、寺請制度のもと、踏絵・影踏にも応じていた状況、年貢をはじめとする諸税を滞りなく納めていた“優秀な百姓”たちの存在が、キリシタンとして裁くに至らなかった行政側の事情もあった。しかし、この文書からは一貫して公儀の配慮に敬意を示している。これは、天草崩れの裁きが公儀による一種の「仁政」として村方に伝えられたからに他ならない。公儀による裁きを受けることに対する、百姓たちの法概念がこの文書に反映されている。また、庄屋や大庄屋が奥書印形しているのも富岡役所へ届け出る正式な手続きを経ており、当時の地方行政として対応されていたことがわかる。

(2) 類族改に関する資料

類族改の資料については、出生と病死という相対する文書を紹介する。類族の出生や死去に関してどのように村方では取り扱われていたのかが詳らかとなる。表番号9（仮番号2-51）・表番号21（仮番号2-2-150）ともに一紙切紙の形状で、法量については表を参照されたい。

〔9号文書〕

一其元長三郎女房昨廿七日男子出生いたし候よし、右類族二而有之故、御申越被成御尤二存候、
長三郎迄二而子どもハ帳面除り申候旨左様御意得可被成候、被入御念御事ニ御座候、以上、
巳正月廿九日

壱町田村庄や

市左衛門(花押)

高濱村御庄や

友右衛門様

これは一町田村庄屋市左衛門から高濱村庄屋友右衛門に宛てたものである。高濱村にいる長三郎女房が男子を出生したことを受けて友右衛門から報告をうけ、市左衛門は、類族は長三郎までで子供は類族帳から除くものであると返答している。

高濱村庄屋の上田友右衛門と一町田村庄屋市左衛門の間に、類族ではなくなった者であっても情報共有を図っていたことが伺える。また、一町田組と大江組との間で類族が移動していたことも看過できない。それだけ、徹底した行政管理がなされていたことが当該資料から示されるが、これは類族の移住が原則禁止されたことも大きいだろう。

〔21 号文書〕

〔端裏書〕
長三郎病死寺手形

指上申手形之事

一肥後国天草郡高濱村百姓長三郎当寺旦那紛無御座候、当子八月廿二日病死仕候右長三郎儀、
同郡老丁田村軋切支丹左衛門統^{見せ消ち}一則高濱村墓所ニ土葬取置申候、若宗旨之儀ニ付脇^{虫損}ろ如何様之儀申出候 □ 拙僧罷出、其埒急度可申明候、為其仍如件、

天草郡大江村禪宗

江月院

享保五年子八月廿二日

富岡御役所

これは、享保5年8月22日付で江月院から富岡役所に届けられた類族長三郎が死亡したことに對する届出である。高濱村の百姓長三郎は江月院を旦那寺としており、病死したことを受けて、軋びキリシタン左衛門からの類族であるため、高濱村の墓所に土葬したことを届け出た。長三郎の宗旨については特に問題なく、何かあったら江月院の僧が出て説明する旨を記している。寺院側に類族に関する管理責任があったことが伺える。

前述したように類族が病死した時は、僧が立ち会って役所に届け出るという規則が遵守されていることを裏付ける資料である。また、誰からの類族であるという情報もあわせて記されているが、それは男系であれば五代までと定められていたからに他ならない。ただし、この文書からは宗門改役が立ち会った記載はみられず、土葬を執り行なった旨だけが旦那寺である江月院から報告されているに過ぎない。これとは別に村役人からも文書が提出されたと思われるが、本資料は旦那寺によるものである。

なお、類族の長三郎については、表6・7などにも記される。長三郎の弟の権太郎が病死した文書も確認されることから、天草において類族は常に関連付けられて把握され、さらには組を越えて情報共有が図られていたのである。

おわりに

今回、取り上げた上田家文書—キリシタン関連資料は、『天草上田家文書目録』にも掲載されない新出資料である。翻刻した資料はその一部に過ぎないが、これ以外の資料は虫損により解読もままならない状態である。特に、享保期の類族改の資料に関しては、全国的にも珍しいもので、村方がどのように類族を管理していたのかを示しており、その資料的価値は極めて高い。ことさら、天草崩れを中心とした文書が確認されている上田家文書であるが、それ以前の状況を記した文書の発見は、潜伏キリシタンや禁教政策の実態に新しい光を照射することができるであろう。いかに禁教社会を生き抜いてきたのか、行政側からの視点から見出していくことができるのである。

「長崎・天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」が世界遺産に登録され、天草では崎津集落が構成資産となった。決して看過できない周辺村から新出された当該資料は、天草崩れまでの空白期間を埋めるものとして資料価値が高い。今後、資料調査をさらに進めていくなかで関連資料が見出せることを祈念して報告を終えたい。

天草市キリシタン資料館 年報

(天草キリシタン館・天草コレジヨ館・天草ロザリオ館)

No.2【2020 年度】

編集・発行 天草市立天草キリシタン館

☎0969-22-3845

〒863-0017 熊本県天草市船之尾町19-52

天草市立天草コレジヨ館

☎0969-76-0388

〒863-1215 熊本県天草市河浦町白木河内175-13

天草市立天草ロザリオ館

☎0969-42-5259

〒863-2801 熊本県天草市天草町大江1749

発 行 日 2021 年 6 月 30 日

印 刷 イナガキ印刷

☎0969-23-2066

〒863-0021 熊本県天草市港町13-20



崎津集落